

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.10 2015
1.2.3.



■特集・PICKUP

指揮 エサ=ベッカ・サロネン ヴァイオリン ヒラリー・ハーン
フィルハーモニア管弦楽団

指揮 有田正広 ヴァイオリン 豊嶋泰嗣
クラシカル・プレイヤーズ東京

シアターオペラvol.8
F.レハール／喜歌劇「メリー・ウイドウ」

小糸 恵 オルガン・リサイタル

音大フェスティバル・オーケストラ

0才から聴こう!!春休みふれあいコンサート

世界のマエストロシリーズ vol.3
小林研一郎 & 読売日本交響楽団

芸劇dance ダンスファーム

「近藤良平のモダン・タイムス」

Roots vol.2 作 清水邦夫 演出 熊林弘高
「狂人なおもて往生をとぐ
～昔、僕達は愛した～」

作・演出 野田秀樹
「エッグ」

演出 山本卓卓
朗読「東京」

「自作自演」 飴屋法水×江本純子

東京芸術劇場
芸 術 監 督 野田秀樹

対談

2015.4-6 演劇・ダンス ラインナップ

eyes plus

モダンスイマーズ／アマヤドリ

芸劇ウインド・オーケストラ演奏会

子どもたちと芸術家の出あう街 ほか

■REPORT

バックステージツアー(プレイハウス編)

■CALENDAR

1月・2月・3月

ひびのこづえ

海外オーケストラシリーズⅢ フィルハーモニア管弦楽団

指揮：エサ＝ペッカ・サロネン ヴァイオリン：ヒラリー・ハーン



エサ＝ペッカ・サロネンと東京芸術劇場を結ぶもの 輝かしい歴史に縁のオーケストラと共に聴く 「伝統」と「革新」

「巨人」フィナーレの興奮も醒めやらぬまま、新聞の担当記者らと入った居酒屋。乾杯を終えて、ふと気付くと、斜め向こうのテーブルから、誰かがこちらに手を振っている。ほの暗い店内、目を凝らすと、クラリネットのマイケル・コリンズだ。1990年秋、東京芸術劇場の柿落とし公演、ジュゼッペ・シノーポリ指揮フィルハーモニア管弦楽団によるマーラーの交響曲全曲のツィクルス初日の終演後のことである。当時、同管の首席を務めていたコリンズは、仲間たちと演奏会の大成功を祝っていたところだったのだ。

古くは、フルトヴェングラー、カラヤンやクレンペラー、さらにはムーティ、ドホナーニら、巨匠たちとの信頼関係のなかで密度の高い活動が続けて来たフィルハーモニア管は、芸劇とは切っても切れない縁を持つ英国の名門である。劇場の四半世紀の輝かしい歴史の第一ページは、他ならぬこのフィルハーモニア管と共に記された。シリーズの白眉でもあったカンタータ《嘆きの歌》の演奏はライブ収録され、名盤の一つとして、今も内外の愛好家に親しまれている。

さらに遡って、1983年、エサ＝ペッカ・サロネンの国際的なキャリアのスタート、「事件」とさえ呼ばれた華々しいデビューが、ロンドンにおけるフィルハーモニアの演奏会への客演で

あったこともまた、広く知られるところだろう。爾来、サロネンは、指揮者として、そして作曲家としても、第一線を走り続けて来た。NHK交響楽団との自作の世界初演、あるいは、前回の来日時、自らの《ヴァイオリン協奏曲》での諏訪内晶子との共演などもまた、記憶に新しい。因に、先頃、彼がフィーチャーされたAppleのテレビCMでこの協奏曲が使われていたことに胸を踊らせたファンも、あるいは少なくなかったのではあるまいか。

とまれ、芸劇にとってもサロネンにとっても、フィルハーモニア管は、各々の歴史の出発点なのである。

加えてプログラムの面からも、これまでに優るとも劣らず、サロネンとその手兵の魅力は、今回も存分に味わえるはずだ。

サロネンが、通り一遍の曲目としてではなく、むしろ、フィルハーモニアとのこれまでの仕事のなかでも最も重要な位置を占めるものとしてベートーヴェンをとらえていることは、ロンドンでの活動に加え、2012年、作曲家の生地、ドイツのボンのベートーヴェン音楽祭において交響曲全曲のツィクルスを行ったことから明らかだ。前回の《第7番》やアンスネスとのピアノ協奏曲などに続き、今回、彼が選んだのは、《第3番》「英雄」。この変ホ長調交響曲は、言うまでもなく、19世紀初頭、音楽

の歴史にロマン派の時代の幕開けを高らかに告げた名曲、時代の最先端を疾走し続けた作曲家の革新の音楽である。

一方、同じロマン派も後期、今一度、古典主義との結節点を見つめ直そうとしたブラームスの《ヴァイオリン協奏曲》で独奏を務めるのは、ヒラリー・ハーン。昨シーズンのネルソンスとの見事な共演でも、芸劇の聴衆にはお馴染みの若きトップ・アーチストである。古典でも新作の委嘱初演でも、細部に至るまでの徹底的なこだわりを持ちながら独自の道を歩み続ける彼女とサロネンとの相性の良さは、シベリウスとシェーンベルクを組み合わせたディスクでも既に実証済みだ。

そして、芸劇で再びフィルハーモニアを聴く喜びについては、改めて言うまでもない。前述のコリンズや、あるいは、作曲家としても知られるヴァイオリンのJ・ミローンなど、このオケには、かねてから、幅広い活動を展開する才人も多い。知られざる名曲から同時代音楽、そして映画音楽などまで、コンサートはもとより、オペラ公演やレコーディングに至るまで、常に変わらない彼らのエネルギーと柔軟性は、何より、個々の楽員たちの「音楽力」の高さがあってこそのものだ。

前回、改修後のホールの響きに目を輝かせていたサロネンの手兵との再訪は、春の音楽シーンの一番の話題となるだろう。

文：岡部真一郎（明治学院大学教授・音楽学）



3月7日(土) 14:00開演
コンサートホール

指揮：エサ＝ペッカ・サロネン
ヴァイオリン：ヒラリー・ハーン
管弦楽：フィルハーモニア管弦楽団

シベリウス／交響詩「トゥオネラの白鳥」
ブラームス／ヴァイオリン協奏曲 二長調
ベートーヴェン／交響曲第3番 変ホ長調「英雄」

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

詳細はP15へ

クラシカル・プレイヤーズ東京

指揮：有田正広 ヴァイオリン：豊嶋泰嗣



Interview 指揮者 有田正広

《運命》の鍵は数字の「3」が握っている！

クラシカル・プレイヤーズ東京が贈るバレンタイン・デー・コンサート。

親密さに、スパイスを加えたプログラムで、ひと味違った古典派音楽を披露する。

新リーダーと紡ぐ親密な協奏曲

——2014年6月の演奏会から豊嶋泰嗣をソロ・コンサート・マスターに迎えた。

豊嶋さんはベテランの音楽家で、リーダーとして色々なオーケストラを引っ張っています。とても経験豊富です。このあいだも、最初のリハーサルでメンバー一同、彼の大きな存在感に驚いたんです。指揮者とのコンタクトの中から、オーケストラに必要なことをしっかりと伝えてくれる。その示し方もまたすごい。メンバーがそこにぐっと引き寄せられるのが分かります。それでいて豊嶋さんはつねに、指揮者である僕を見ている。僕の意図が、豊嶋さんを通じてオーケストラ全体に伝播していく様子が、ありありと見えました。

——今回、豊嶋はソリストとして参加する。

《レオノーレ》序曲のあと、前半のメインとしてモーツァルトのヴァイオリン協奏曲《トルコ風》を弾いてもらいます。豊嶋さんの音楽には、声高でない、静かで優しい彼の人柄が、そのまま出ています。《トルコ風》はオペラチックと言ってよいほど饒舌な作品ではあるけれど、

豊嶋さんは語りすぎたりしません。モーツァルトのおしゃべりを的確に示してくれます。

協奏曲では何度目かの共演です。以前、違うオーケストラの公演で同じ舞台上立ったとき、豊嶋さんの本番での演奏はリハーサルで作り上げた以上の、よりファンタジー豊かな表現で、特に弱音での美しい緊張感に、オーケストラ全体が一体感溢れる演奏になったことを思い出します。名手とは、ここまでも雰囲気を一瞬に変えられる何かを持っているんですね。今回もそんな親密さに期待しています。

ノックか鳥のさえずりか？

——演奏会の後半にはベートーヴェンの交響曲第5番《運命》が控えている。

クラシカル・プレイヤーズで《運命》を演奏するのは初めてです。ベートーヴェンの身の回りの世話をしていたシンドラーという人が喧伝した、『運命は扉を叩く』という伝説的な言葉がありますよね。インパクトはありますが、ベートーヴェンはそんな風感じていなかったのではないかな。鳥のさえず

りにヒントを得たという話もありますし。ピピピ・ピーとね。冒頭を超フェルマータするような演奏は、シンドラーの言葉に依るのかもしれない。

——この曲を『運命』と呼ぶには、別の視点が必要だという。

ベートーヴェンが「3」にこだわったのは確かだと思います。ハ短調はフラット3つの調です。トロンボーン3本も象徴的ですよ。教会の楽器ですから。フランス革命にシンパシーを感じていたベートーヴェンにとって、自由・平等・博愛を示す「3」という数字は重要でした。同じくフラット3つの交響曲第3番《英雄》に、当時としては異例のホルン3本態勢で臨んだのも、そんな姿勢の表れですね。

《運命》で新たにオーケストラに加わったトロンボーンやコントラファゴット、ピッコロは、第9交響曲の楽器編成にも受け継がれます。《英雄》から続く「3」へのこだわりと交響曲の革新。それが第5を経由して最後の第9にまで至る。そんなところにこそ、交響曲第5番を、ベートーヴェンの《運命》と呼ぶにふさわしい流れがあるのではないかなあ。

取材・構成：澤谷夏樹



2月14日(土) 15:00開演
コンサートホール

指揮：有田正広
ヴァイオリン：豊嶋泰嗣
管弦楽：クラシカル・プレイヤーズ東京
ベートーヴェン／「レオノーレ」序曲第3番op.72b
モーツァルト／ヴァイオリン協奏曲第5番
「トルコ風」イ長調K.219
ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」
ハ短調op.67

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）
助成：平成26年度 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

詳細はP13へ

石川県音楽文化振興事業団×東京芸術劇場 共同制作公演 東京芸術劇場 シアターオペラ vol.8 F.レハール 喜歌劇『メリー・ウィドウ』全幕

Interview ソプラノ 小林 沙羅 瑞々しい歌と踊りで舞台に「もう一つの華」を

新星ソプラノとして東京芸術劇場に
現れては7年。

ウィーンを拠点に欧州と日本で舞台に立つ
小林沙羅が、ウィンナ・オペレッタの
楽しさを朗らかに語る！



昔の恋人で今は富豪の未亡人ハンナと、赴任先で再会した外交官ダニロ。その大人同士の熱い駆け引きを甘いワルツが彩る《メリー・ウィドウ》では、パリジャンに惹かれる人妻ヴァランシエンヌもドラマに華を添える一人。演じるソプラノ小林沙羅が役柄の魅力を存分に語る。

「美人で裕福なハンナに憧れる一方で、ヴァランシエンヌは、男爵夫人としての自分の立場に誇りも抱いているようです。でも、彼女は明るくて楽しいことが大好き。若いカミーユとのロマンスには心揺れますし、カンカンを踊るシーンもあるといった活発な女性です。物語の中心はハンナとダニロのやりとりですが、そこにヴァランシエンヌの存在がスパ

イスのように効いてくればと思います！」
幼少時からバレエを続けた小林は、踊りながら歌うシーンが大好きとのこと。「体操部に居たこともあり側転も得意です！(笑)。…音楽面では、ヴァランシエンヌのパートには二重唱が多いですが、オペレッタのデュエットだと声を重ねるよりは歌い合うといった部分が支配的で、まさに歌でもあり会話でもあるなと感じます。また、動きもかなり入りますので、芝居的な要素が強く乗ってくる曲が多いですね…《メリー・ウィドウ》は作品自体が本当に賑やかなので、皆さまも余り肩ひじ張らずに(笑)、そのまま楽しんで頂ければと思います。お馴染みのメロディもきっと多いでしょう。ちなみに、今回は海外の歌手も参加するので、

台詞は英語でのやりとりが中心ですし、歌はオリジナルのドイツ語で歌います。字幕は勿論付きますから初めての方にも親しみ易いと思います。演出の茂山童司さんがどんな衣裳を着せて下さるのか、私も今から楽しみです」
特別出演の名花メラニー・ホリディとは、前回の《こうもり》でも共演した仲。
「メラニーさんは前回、リハーサルから私の歌を聴いて下さり、歌い直しへの細かいアドバイスなどたくさん与えて頂き、『貴女は身体も動かし、これからオペレッタも含めいろいろ歌ってね』と励まして下さいました。ですので、今年もご一緒出来ることが本当に嬉しいのです。私が直に知るウィンナ・オペレッタの華やかさを、皆様に存分に味わって頂けるよう、楽しく演じたいと思います！」

取材・構成：岸 純信(オペラ研究家)

2月22日(日) 15:00開演
コンサートホール

指揮：ミハエル・バルケ
出演：セバスチャン・フップマン／小林沙羅／
ペーター・ボーディング／小川里美／
ジョン・健・ヌッツォ ほか
管弦楽：読売日本交響楽団
合唱：東邦音楽大学合唱団
演出&台本：茂山童司
金沢公演：2月28日(土)金沢歌劇座
オーケストラ・アンサンブル金沢(管弦楽)

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
公益財団法人石川県音楽文化振興事業団／金沢歌劇座(公益財団法人金沢芸術創造財団)
助成：平成26年度 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業(共同制作事業)

詳細はP14へ

パイプオルガンコンサートVol.19 ～小糸 恵 オルガン・リサイタル～

3月20日(金) 19:00開演 コンサートホール

詳細はP15へ



オルガン：小糸 恵
プログラム等詳細については、決まり次第
公式HPにてお知らせいたします。

スイスで光り輝く異才が奏でるオルガンの魅力

Kei Koitoの名で知られる小糸恵は京都の生まれ。マリークレール・アラン亡き後、世界で最も注目される女流オルガニストだ。東京芸術大学オルガン科を卒業して、ジュネーブ高等音楽院に学び、活動の拠点をスイスに構えた。天賦の才はローザンヌで花開き、同地の高等音楽院教授、バツハ・フェスティバル芸術監督と要職に就任。マスタークラスや国際コンクールの審査員としても世界を駆けめぐる。深い研究に裏打ちされた正統的バツハ演奏に定評があるが、

長年月かけて蓄積されたルネサンス・バロックからロマン派・現代に至るまでの多彩なレパートリーを誇る。いまや世界に名を轟かす東京芸術劇場のルネサンス・バロック・モダン3種類の回転式オルガンを、世界の小糸がどのように駆使するかが見どころ聴きどころ。ヨーロッパ伝統のダンスリズム、ゴシック教会で捧げる厳かな祈り、伽藍を満たす壮麗な響き。ヨーロッパ500年の粋を一気に味わえるのだ。

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 助成：平成26年度 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

東京芸術劇場&ミュゼ川崎シンフォニーホール共同企画 第4回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ

3月29日(日) 15:00開演 コンサートホール

詳細はP16へ



指揮：ユベール・スダーン
管弦楽：音楽大学フェスティバル・オーケストラ
(首都圏9音楽大学選抜オーケストラ)



参加音楽大学
上野学園大学、国立音楽大学、昭和音楽大学、
洗足学園音楽大学、東京音楽大学、東京藝術大学、
東邦音楽大学、桐朋学園大学、武蔵野音楽大学

グリンカ／歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲
レスピーギ／交響詩『ローマの松』
ムソルグスキー(ラヴェル編曲)／組曲『展覧会の絵』
3月28日(土)15:00開演 ミュゼ川崎シンフォニーホール

明日のスター演奏家はここから生まれる

東京芸術劇場とミュゼ川崎シンフォニー
ホールの連携によって開催され、首都圏の音楽
大学で学ぶプロの卵たちがフレッシュな演奏を披露する『音楽大学オーケストラ・フェスティバル』。従来の8大学に加え、2014年度から上野学園大学を加えた9大学が11～12月にそれぞれ名演を聴かせた。そして2015年3月、その選抜メンバーによって結成される「音楽大学フェスティバル・オーケストラ」が総決算としてコンサートを行う。

演奏されるのはムソルグスキー(ラヴェル編曲)の「展覧会の絵」ほか、全楽器・パートが活躍できる最高級のラインナップ。実は2011年に震災で中止となった演奏会のプログラムなのだ。未来のクラシック音楽シーンを担う彼らと共に若々しい音楽を作り上げるべく指揮台に立つのは、10年間にわたって東京交響楽団の音楽監督を務めるなど、百戦錬磨のマエストロであるユベール・スダーン。チケットがリーズナブル価格であることもうれしい。

主催：音楽大学オーケストラ・フェスティバル実行委員会／東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／ミュゼ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
助成：公益財団法人ロームミュージックファンデーション／平成26年度 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

芸劇&読響 0才から聴こう!!春休みふれあいコンサート

3月30日(月)【1回目】13:30開演／【2回目】15:30開演 コンサートホール

詳細はP16へ



指揮：梅田俊明 ナビゲーター：中井美穂
ソプラノ：鷺尾麻衣
管弦楽：読売日本交響楽団 (構成演出：吉田雅之)

チャイコフスキー／歌劇『エフゲニ・オネーギン』から『ボロネズ』
ジグムント2世／ポリカ『クラブフェンの森で』Op.336、ワルツ『春の声』
ストラヴィンスキー／サーカス・ポリカ
アンダーソン／ワルツイング・キャット
モーツァルト／ドイツ舞曲K.600から第5曲長調『カナリア』、
歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』から
デスビーナのアリア『女が15歳にもなったら』
チャイコフスキー／バレエ音楽『くるみ割り人形』から『花のワルツ』

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 事業提携：読売日本交響楽団 助成：平成26年度 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

世界のマエストロシリーズvol.3 小林研一郎&読売日本交響楽団

4月24日(金) 19:00開演 コンサートホール



指揮：小林研一郎
ソプラノ：小川里美
メゾソプラノ：クリスティーナ・グレッツカ
合唱：東京音楽大学合唱団
管弦楽：読売日本交響楽団

マーラー／交響曲第2番 ハ短調「復活」
[チケット料金]
S席6,500円／A席5,500円／B席4,500円
C席3,500円／D席2,500円

“炎のコバケン”がマーラーの世界へ誘う

東京芸術劇場と読売日本交響楽団による『世界のマエストロ・シリーズ』。第1回は豪腕のスクロヴァチェフスキ、第2回は慈愛のエリシュカという2人のヴェテラン指揮者が登場して好評を博した。第3回は“炎のマエストロ”という愛称でもおなじみ、小林研一郎が指揮台へ登場し、得意とするマーラーの交響曲第2番「復活」を演奏する。2015年で75歳となるマエストロだが、そのパッションと気迫、音楽を深く掘り下げてドラマを作り上げるエネルギー

は底なしだと言えるだろう。

マーラーの「復活」は後半に声楽が加わる感動的な交響曲であり、2人の女声ソリストと合唱が深遠かつ情熱的な歌を聴かせる。衝撃的な曲の冒頭から展開されるドラマや、さまざまな感情をマエストロは全身全霊で操り、壮大な世界に仕上げていく。聴いているこちらも思わず身を乗り出すほど、小林の指揮姿は迫力満点なのだ。ぜひ、一期一会の音楽体験を。

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 事業提携：読売日本交響楽団

芸劇dance ダンスファーム 「近藤良平のモダン・タイムス」

Interview ダンサー・振付家 近藤良平

近藤良平があなたと耕す！ 新しいダンスの地平

近藤良平が東京芸術劇場と取り組んできた、
ダンスをもっと豊かにするプロジェクト「ダンスファーム」。
今回は一般公募の皆さんが、豪華共演者とともに！



ダンスは本当に「身近」か？

ダンスは身近になった、といわれる。たしかに中学校の体育の授業で必須になったし、様々なメディアで目にするようにはなった。しかし本当にそうだろうか。あなたの日常生活の中に、ダンスはどれくらいあるだろうか。「身体を動かすことが気持ちいい」と最後に思ったのは、いつのことだろうか？

人気ダンスカンパニー、コンドルズの主宰にして日本のダンスシーンの牽引者、そしてダンスの裾野を広げてきた近藤良平は「ダンスが届いていない人はまだまだたくさんいるし、耕すべきダンスの地平は広大にある」と考えているようだ。

今回の『モダン・タイムス』は一般から参加者を募り、プロのパフォーマーと一緒に作る作品だが、この公演は、昨年度から行っている「芸劇dance ダンスファーム」の一環として上演される。文字通りまだ未開のダンスの農地(ファーム)を「耕す」ことを目的としたプロジェクトだ。

「これは、様々なジャンルの人にダンスへ関わってもらうことを目指したプロジェクト。昨年度は、身体・言葉・音・絵(映像)とそれぞれテーマを設定して2日間つつワークショップを行いました。下は16歳から、最高齢はむかし戦闘機に乗っていたという83歳の男性まで(笑)参加してくれた。ダンス未経験の人が中心だったけど、ダンスに対して様々な見方、様々な人生が集まって、非常に面白かった。今回はその成果を受け、あらためて一般の方をオーディションして作品を創ります」(近藤)

プロとアマをゴチャゴチャに!?

共演者も豪華だ。バレエの改革者モーリス・ベジャールのもとで活躍したバレエダンサーの小林十市。独特なファッションセンスを発揮し、パフォーマーとして幅広く活躍している篠原ともえ。シンガーソングライターのみならず多くのアーティストとのコラボレーションも活発な、たむらばん。コンドルズからは自らもダンスカンパニーを主宰しているスズキ拓朗が参加する。

「皆素晴らしい人達だけど、よくある『プロのアーティストと、それを取り囲む一般の皆さん』という形には絶対にしたくない。みなゴチャゴチャで、ミュージシャンのたむらばんにも踊ってもらうつもりだから(笑)。そしてダンス公演としてチケット代をいただけるクオリティのものを創る。3回公演なので、1回の盛り上がりだけでは通用しないからね」(近藤)

今回、近藤にとっては「東京芸術劇場のプレイハウスで上演する」ということが非常に重要だという。

「プレイハウスという大劇場の風格、雰囲気さすがすごく良い。しかも数え切れないくらい一流の舞台人が立ってきた場所ですからね。畏れ多い(笑)。10年前の僕なら、怖くてできなかつ

たかもしれない。それだけの場所に、皆と一緒に立つことが、参加者一人一人にとって重要なんだと思います」(近藤)

ダンスの力を信じている

タイトルは『モダン・タイムス』。有名なチャップリンの映画名が浮かんでくるが、この企画を考えている時にふと浮かんだ言葉なのだという。

「あえて関連づけてみると、あの映画が作られたとき同様、僕らが子どもの頃は、『これから世界はどんどん良くなっていくものだ』という希望を当たり前のように持っていました。そういう気持ちを、いまダンスを通して共有したい。ダンスの根本は、生きていく力を与えることだと信じていますから」(近藤)

大きさではない、だけどとても大切なもの……そんなダンスの本質が楽しめる公演になりそうだ。



取材・構成：乗越たかお (作家・ヤサぐれ舞踊評論家)

1月16日(金)～17日(土) プレイハウス

構成・演出・振付：近藤良平

出演：北尾 亘、小林十市、近藤良平、篠原ともえ、清水ゆり、スズキ拓朗、たむらばん、デシルバ・安奈、那須野綾、野坂 弘、三輪亜希子(50音順)＋一般参加のみなさん



小林十市



篠原ともえ



たむらばん

主催：東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

詳細はP11へ

Roots vol.2

「狂人なおもて往生をとぐ ～ 昔、僕達は愛した ～」



家族を問い、政治を、社会を問う演出とは

2014年3月のジャン・コクトー劇『おそろべき親たち』で圧倒的な演出を見せつけた気鋭の演出家・熊林弘高が、清水邦夫の名作戯曲にチャレンジする!!

とんでもないものを引き受けた

2013年にスタートした東京芸術劇場のシリーズ企画「Roots」は、60年代から70年代にいたる小劇場演劇草創期の名作戯曲に新しい光をあてるユニークな試みだ。ポツドールの三浦大輔が挑んだ、つかこうへいの『ストリップパー物語』に続く第2弾は、気鋭の演出家・熊林弘高による清水邦夫の名作『狂人なおもて往生をとぐ』のリメイク。

野心的な人選である。熊林弘高は、14年3月にシアターウエストで上演されたジャン・コクトーの『おそろべき親たち』のように、海外の戯曲、特に、古典戯曲を取り上げてきた演出家だからだ。作品に隠されたドラマ性を鋭く大胆に暴き出す熊林弘高の演出が、清水邦夫の戯曲にどんな光をあてるのだろうか。

熊林弘高に話を訊いた。

「9月から勉強会を始めて、「これはとんでもないものを引き受けた」と思い始めました。もともとは、政治に疎く、社会オチの人間。で

も、この戯曲は、作品が描かれた1969年当時の政治的背景だけでなく、現代の政治状況にも見事に呼应している。例えば、主人公の父親は大学で教鞭をとる人間ですが、どうやら、道徳教育を否定して、教科書の編集委員を干されたことがある人物らしい。今まさに、特定秘密保護法の問題があり、道徳教育のクローズアップがある。「たとえ事実をゆがめても、真実をゆがめることなく」というセリフがあるんですけど、これだって、昨今のメディアや新聞の問題や、プッシュ大統領のイラク攻撃の問題にも通じますよね」

エゴイズムを描くこと

主人公の青年の名前は出(いずる)だが、名前とは裏腹に引きこもりの男である。彼は精神に変調をきたしているらしく、自分の家族を売春の館にたむろする娼婦やその客と思い込んでいて、家族たちはその妄想に付き合い、ゲームのような人間関係を強いられる。

「自分が演出してきた『おそろべき親たち』や『秋のソナタ』『トライプス』などで一貫して描いてきたのは、「エゴイズムは、自分を守るために必要なものである反面、エゴイズムが高まると、相手の立場を想像する力がなくなっていく。それが争いにつながっていく」ということ。長崎の女子高生が同級生を殺害した事件で「人を殺してみたかったから殺した」と言ったのは、他者に対する想像力の欠落。誰でもそういう気持ちを抱く瞬間はありますが、その行為を踏みとどまらせるものは想像力。人が死ぬことでどれだけ周囲の人が悲しむか、罪を犯すことでどれだけの人が苦しむかというような。自分の演出スタイルは社会派ではないですが、人間と人間の関係性の中で、エゴイズムを描いてきた。今回は、人間と人間の関係を描きながらも、ダイレクトな政治性、社会性にも挑まなければいけないと思う」

熊林は、清水邦夫がとあるエッセイの中で書いた「埋没していた時間が或るショックを受けて、真の時間を刻み出すかもしれない」という一節に深い印象を受けたという。これすなわち、今回の舞台をより深く味わうために、演出家がそっと差し出してくれたキーワードに違いない。

若くフレッシュな3人、福士誠治、門脇麦、葉山奨之に加え、「仕事をするのは初めてですが、10年来の知人」である緒川たまき、これまでも熊林演出を支えてきた名手のふたり、中嶋しゅう&鷺尾真知子と、何かが起きそうなキャストはそろった。

『狂人なおもて往生をとぐ』が、平成の新しいスタンダードにならんことを。

取材・構成：戸塚 成

2月10日(火)～26日(木) シアターウエスト

作：清水邦夫 演出：熊林弘高

ドラマタージュ：木内宏昌

出演：福士誠治、緒川たまき、門脇 麦、

葉山奨之、鷺尾真知子、中嶋しゅう

主催：東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都／東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
助成：平成26年度 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

詳細はP14へ

国立シャイヨー劇場 正式招待公演 『エッグ』パリ公演



『エッグ』がパリに仕掛ける知のワナ

フランス国立シャイヨー劇場による正式招待!野田秀樹作・演出・出演、東京芸術劇場×ノダマップ製作による大規模公演『エッグ』が2015年3月、いよいよパリ上陸へ。劇場が想像を超えた驚きに包まれる予感・・・

新たな発見と共感の場に

躍動する身体、弾けるポップス、そして見ている者をいつの間にか知の罠へと誘い込む野田ワールドが、ギュッと凝縮された『エッグ』。オリジナルキャストの妻夫木聡、深津絵里ら総勢30人による野田の大規模公演が、海外で初めて、それもパリ・国立シャイヨー劇場というフランスの名門劇場で正式招待作品として上演される。

シャイヨー劇場はパリのトロカデロ地区、セーヌ河を挟んでエッフェル塔の威容を眼前に望む絶好のロケーションにある。2014年5月15日、劇場ホワイエで開かれたプレス懇談には、折しも同劇場の特設舞台で『THE BEE』(英語版)を上演中の野田も出席。芸術監督のディディエ・デシャンから『エッグ』を含む2014/2015シーズンのプログラムが発表され、劇場側の意気込みを肌で感じられた。

2014/2015シーズンは「多様性を重視した」とデシャン。2012年にロンドンで見た『THE BEE』の「ビジュアルな演出に驚いた」と言い、さらに東京芸術劇場で『エッグ』の初演に大きな衝撃を受けたことが、今回の正式

役割も「違った方向のベクトルのものを舞台で提示することは人間の豊かさをもたらす。劇場とは自問する精神を忘れさせないようにする場」と明快だ。

『エッグ』もまた、スポーツや音楽の熱狂とナショナリズムの関係から、昭和史の暗部へといたる「日本人として自問する作品」(野田)である。と、同時にデシャンの狙いは、視点を変えて日本の演劇や文化の多様な魅力を提示することにもあるようだ。「東京は大通りにビジュアルな広告があるかと思えば、小さな神社があり、品のある国民というイメージがあるけれど、ものすごくパンクな作品もつくる。その落差が西洋人には魅力的。フランスは伝統的なものと、コンテンポラリーなものと、それぞれ観客が違う。『エッグ』はどちらの観客にも問いかけることができる舞台にしたい」

フランスでは、マンガから映画、ファッション、アート、伝統芸能にいたるまで日本への関心が驚くほど高いと聞く。『THE BEE』に続く、『エッグ』という現代演劇の上演は、まだ知らない日本文化の一端に触れてもらう好機になるだろう。

『エッグ』もまた、パリの新鮮な視線に刺激され、きっと予想もつかない変容を遂げるに違いない。そして、日本の観客の前に想像を超えた姿を現してくれるのを楽しみにしたい。

文:毎日新聞学芸部 演田元子

パリ公演:3月3日(火)～3月8日(日)
製作:東京芸術劇場(公益財団法人 東京都歴史文化財団)ノダ・MAP
助成:平成26年度文化庁国際芸術交流支援事業 オフィシャル・エアライン:全日本空輸株式会社



国立シャイヨー劇場(パリ)

日本文化の多様性提示する好機に

デシャンは“多様性”を重視する背景に、自己中心化する個人や社会、不寛容へ傾きつつある現代世界への懸念をにじませる。劇場の

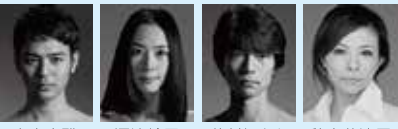
日本公演 NODA・MAP第19回公演『エッグ』
2月3日(火)～22日(日) プレイハウス

作・演出:野田秀樹 音楽:椎名林檎
出演:妻夫木聡、深津絵里、仲村トオル、秋山菜津子、大倉孝二、藤井 隆、野田秀樹、橋爪 功

大阪公演:3月26日(木)～4月8日(水)
シアターBRAVA!

北九州公演:4月16日(木)～4月19日(日)
北九州芸術劇場大ホール

(東京公演)主催:NODA・MAP 共催:東京芸術劇場(公益財団法人 東京都歴史文化財団)



企画・製作:NODA・MAP 協賛:住友生命/TOPPAN

東京公演詳細はP13へ

芸劇+トーク 朗読「東京」(第3回)

1月7日(水)～9日(金) 19:30開演 シアターイースト

詳細はP11へ

東京を読み、東京を語り、東京の魅力を再発見

東京を描いた小説や戯曲を俳優が朗読し、評論家の川本三郎を聞き手に語るリーディングシリーズ。今回は舞台や映画で活躍する若手が坂口と谷崎の短編、落語の『品川心中』に挑戦。街の豊かな魅力、知られざる顔を再発見する機会でもあり、興味をそられる。期待して劇場へ!

1月7日(水)『白痴』坂口安吾 作



川口 覚



藤井美菜

1月8日(木)『少年』谷崎潤一郎 作



百瀬 朔



名児耶ゆり

1月9日(金)『品川心中』(古典落語より)



橋本 淳



宮菜穂子



演出:山本卓卓(範由遊演)

企画監修・トーク聞き手:川本三郎

主催:東京芸術劇場(公益財団法人 東京都歴史文化財団)
東京都ノ東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人 東京都歴史文化財団)ノ豊島区
制作:る・ひまわり
助成:平成26年度 文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

芸劇+トーク 異世代リーディング「自作自演」(第12回)

2月2日(月) 19:00開演 シアターウエスト

詳細はP13へ

異世代の作家が自作を読み、語り合う。その声に耳を澄まして

世代の異なる2人の作家が自作を読み、語り合う。芸劇休館中の2011年にスタートした人気シリーズに、1961年生まれの飴屋法水と1978年生まれの江本純子が登場。

小説や戯曲、エッセイを、手掛けた作家自ら声に出して読むという、特別な気持ちが込められた朗読はファン必聴。それを生み出した作家ならではのあふれる思いに耳を傾ければ、見知った作品にも違った味わいを感じ、新しい風景が見えてくるはず。

美術家でもある飴屋と独自の演劇スタイルを確立した毛皮族主宰の江本。異なるポキャブラリーを持つ異世代だが、飴屋が結成した東京グランギニョルの代表作『ライチ光クラブ』を江本が舞台化したことも。

語り合うことで2人のどんな共通項が浮かび上がるだろう。ここでしか聞くことができない、リアルでディープな話にひたれる至福の時間。どの作品がピックアップされるのか、それも楽しみにしながら出かけよう。

主催:東京芸術劇場(公益財団法人 東京都歴史文化財団)
東京都ノ東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人 東京都歴史文化財団)

2015 COMING UP NEXT 4-6

芸劇eyes

劇団チョコレートケーキ「追憶のアリラン」

脚本:古川健 演出:日澤雄介
4月9日(木)～19日(日)ノシアターイースト
一般発売:2月上旬

芸劇dance

ローザス「ドラミング」

振付:アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル
4月16日(木)～18日(土)ノプレイハウス
一般発売:2月14日(土)

芸劇dance

Co.山田うん「春の祭典」「七つの大罪」

振付・演出:山田うん 出演:Co.山田うん
4月24日(金)～26日(日)ノシアターイースト
一般発売:2月21日(土)

※2014年12月25日時点の情報です。
変更になる場合がございます。
最新情報はお問合せ下さい。

TACT/FESTIVAL 2015

クレール・リュファン「眠れない... -L'Insomnante」

出演:クレール・リュファンノカミーユ・ボワテル
5月3日(日)～6日(水・休)ノシアターイースト
一般発売:3月7日(土)

J・モンタルヴォ「アサニシマサ、アサニシマサ～魔法の呪文」

振付・演出:ジョセ・モンタルヴォ
5月3日(日)～6日(水・休)ノシアターウエスト
一般発売:3月7日(土)

芸劇eyes

ブス会*「女のみち2012 再演」(仮)

脚本・演出:ベヤンヌマキ
5月下旬ノシアターイースト
一般発売:4月上旬

TSミュージカルファンデーション「Garantido ガランチード」

演出・振付:謝珠栄
5月21日(木)～26日(火)ノプレイハウス
一般発売:2月21日(土)

2015.4-6 演劇・ダンス ラインナップ

eyes plus

城山羊の会「仲直りするために果物を」

作・演出:山内ケンジ
5月下旬～6月上旬ノシアターウエスト
一般発売:4月下旬

芸劇eyes

木ノ下歌舞伎「三人吉三」

監修・補綴:木ノ下裕一 演出:杉原邦生
6月中旬ノシアターウエスト
一般発売:4月上旬

グループ・ぱる「Yへ～茨木のり子の日記～」(仮)

作:長田育恵 演出:マキノノゾミ
6月12日(金)～21日(日)ノシアターイースト
一般発売:4月下旬

「cocoon」

原作:今日マチ子 作・演出:藤田貴大
6月下旬～7月中旬ノシアターイースト
一般発売:4月下旬

eyes plus モダンスイマーズ「悲しみよ、消えないでくれ」

1月23日(金)~2月1日(日) シアターイースト

詳細はP12へ



作・演出:蓬萊竜太
出演:古山憲太郎、津村知与支、小椋 毅、
西條義将、生越千晴/
今藤洋子、伊東沙保/でんでん

新生・モダンスイマーズによる、悲しみという免罪符の物語。

芸劇eyesがスタートした2009年に『凡骨タウン』、2011年のリニューアル記念「東京福袋」には『不毛ドライブ』と、東京芸術劇場の節目に参加してきたモダンスイマーズが、満を持してeyes plusに登場する。

モダンスイマーズの魅力と言えば、作・演出を手がける蓬萊竜太の、ブレることなく次々と投げ込まれていた重く速いストレートが、いつの間にか変化球になっていたという、見事なドラマづくりにある。1999年結成なので、15年の歴史の中ではその時々の変化もあるが、真正面から丁寧に人間の心の動きを追いつつ、人間の思いだけではどうにもならない大きなものを扱う物語は、少し大げさな言葉を使えば、常に運命や宿命というものを描いていたと言えるだろう。

井上ひさしの遺志を継いで新作を書き下ろした『木の上の兵隊』(2013年)をはじめ、翻訳

劇、現代小説、古典などさまざまなプロデュース公演の脚本、演出で蓬萊竜太が引く手あまたなのは、上記のように細やかな心理描写と大きな運命を同時に描けることを考えれば、何の不思議もない。

『悲しみよ、消えないでくれ』は、1年2ヵ月ぶりの劇団公演。蓬萊竜太、主宰で俳優の西條義将、俳優の古山憲太郎、津村知与支、小椋毅という男所帯に、生越千晴という22歳の新人女優が加わった新生・モダンスイマーズとしては初めての公演となる。客演には、さまざまな舞台や映像で活躍する今藤洋子、伊東沙保、そしてでんでん という、個性派にして実力派が顔を揃えた。妻を亡くして生きる意欲を失った男と、妻の家族や近所の住民など周囲の人々との関係から、弱さやズルさ、その先にある人間の本当がにじんでき、見応えのある作品になりそうだ。

文:徳永京子

主催:モダンスイマーズ 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

eyes plus アマヤドリ「悪い冗談」

3月20日(金)~29日(日) シアターイースト

詳細はP16へ



作・演出:広田淳一
出演:笠井里美/松下 仁/渡邊圭介/小角まや/
榊菜津美/糸山和則/沼田星麻/
中野智恵梨/中村早香 ほか

海外キャストを招いて、観光立国になったニッポンを描く。

1年に3回公演は当たり前、その間に自分達のスタジオを構えたり、1ヵ月のロングラン公演をしたり、古典にも取り組んだり、作・演出・主宰の広田淳一が地方や海外で仕事をしたりと、常に怒濤の勢いで活動しているアマヤドリ。その濃密さは作品の内容にも反映されていて、特にオリジナル作品は、SF的な設定の緻密なせりふ、せりふに頼らない人間関係の機微、現代社会につながる大きなテーマ、出演者全員によるスピーディなダンスという複数の要素を、ひとつの作品の中で共存させている。

東京芸術劇場には2011年、現在の名前になる前の「ひょっとこ乱舞」時代(2001~12年)に、『ロクな死に方』で芸劇eyesに参加。同作は、劇作家協会新人戯曲賞優秀賞を受賞した。『悪い冗談』は、2014年度を通じて取り組んできたテーマである「悪と自由」の、第3作にして完結編。4月の『ぬれぎぬ』、9月の『非常の階

段』を通して広田がこだわってきたのは、人間の心にある悪、社会に発生する悪が、なぜ生まれてどう増殖していくのか。また、人間の尊厳に自由があるなら、悪と自由はどこまで相容れるか、という問題。この壮大なテーマを、いよいよ完結させるという。

具体的には、観光立国となるべく国全体がテーマパークと化してしまった国の日常という形で、日本の今後を大胆に夢想する。カジノ法案などが議論され、オリンピックを意識した街づくりが話題に登る今、非常にタイムリーな内容と言えるだろう。出演はアマヤドリのメンバーに加え、広田がアジア舞台芸術祭などで知り合ったアジアの俳優達を招く。国際共同作業の面も持つ現場の刺激的な空気が、きっと観客にもピリピリと届くだろう。

文:徳永京子

主催:合同会社ブランブル/アマヤドリ 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

舞台の見方が変わる!?

劇場スタッフの素顔に出会うツアー

一般の方々はふだん見ることができない舞台裏を見学するバックステージツアー。

2013年に続き2014年も、プレイハウスで行われました。

建物や機材も珍しいけれど、劇場ではどんな人がどんな仕事をしているのでしょうか?

大好評のバックステージツアーのレポートです。



公演の日は、たくさんの観客で埋めつくされているプレイハウスの客席。今日はツアーに参加する限定30名の貸しきりです。いつもより静かな劇場は、独特の雰囲気醸成しています。

ツアーのはじまりは、技術スタッフが総力を挙げておくる、舞台機構を使ったデモンストレーションです。音楽に合わせ、照明用、吊物用のバトンたちが自在に昇降し、美しい模様を描きます。舞台機構だけで、こんなに見ごたえのあるショーができるなんて驚き!



舞台上で、降下させた照明用ブリッジに、作業用ハーネスを装着して乗り込む参加者。

次はいよいよ舞台へ。舞台上で、降下させた照明用ブリッジに、作業用ハーネスを装着して乗り込む参加者。

次は楽屋を見学。公演に出演するあの人、この人、みんなこんな楽屋を使っていたんだ! ドキドキします。

音響、照明オペレーション室の大きな調整卓にも驚きの声。機材に触ってみます。照明機材のピンスポット操作って難しい! スタッフと直接言葉を交わすのも新鮮です。裏方さんって、とても親切なんですね。



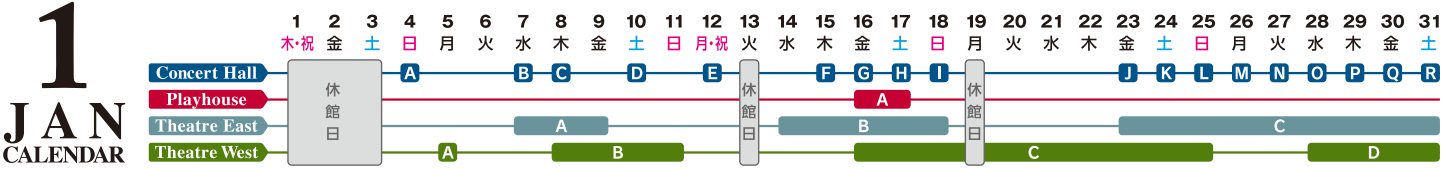
客席後ろの<投映室>で、ピンスポットの操作について説明を受ける参加者。

その後ロビーでは場内案内の仕事について、レセプションист(受付・案内係)が説明します。チケットをもぎるわずかな時間で、演目や開演時間を確認したり、遅れてきたお客様を静かに案内したりと、プロの技が光ります。

舞台セットの搬入口を見学したら、次はなんと舞台の「奈落」へ。舞台下には大きな「奈落」と呼ばれる地下空間があり、舞台の一部を切り抜いた、「迫り」と呼ばれる、舞台セットや人が昇降できるような舞台昇降装置が設置されています。まさに舞台の「秘境」! 迫りに乗りこんだら、ツアーのハイライトです。出演者気分、徐々に舞台へとセリ上がっていきます。舞台上に到着したら、まばゆい照明と大きな歓声! まるでスターになったような気持ちに!

劇場の裏側を巡って、専門スタッフたちから説明を受け、バックステージを体感する2時間。次に公演を観るときは、舞台裏で活躍するスタッフにも思いを馳せそうです。

【実施日】2014年10月19日(日)11時~13時/15時~17時 *2回開催 【会場】プレイハウス



Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)/ソプラノ(Sop)/メゾ・ソプラノ(M.Sop)/アルト(Alt)/テノール(Ten)/バリトン(Bar)/バス(Bass)/コーラス(Chor)/フルート(Fl)/オーボエ(Ob)/クラリネット(Cl)/

A 4日(日) 17:30開演

犯罪被害者支援チャリティ音楽祭

出演 石田修一、畠田貴生、桐生智晃(Cond)/
柏市立柏高等学校、東海大学付属高輪台高等学校、
三重県立白子高等学校(吹奏楽)
料金 S:3,000円/A:2,500円/B:2,000円
TEL 犯罪被害者支援チャリティ実行委員会 059-213-8211

B 7日(水) Closed・関係者のみ

『音楽日和』～JAF会員のための音楽会～

C 8日(木) 19:00開演

クラシカル・プレイヤーズ東京 室内楽演奏会 vol.4『カルテット!』

出演 木村理恵、荒木優子(Vn)/成田 寛(Vla)/武澤秀平(Vc)
曲目 ハイドン/弦楽四重奏曲から
モーツァルト/「ハイドンセット」から第2番 ほか
料金 【全席自由】2,000円[150席予定]
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

D 10日(土) 14:00開演

読売日本交響楽団 第173回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 準・メルクル(Cond)/ダニエル・ミュラー＝ショット(Vc)/
安藤赴美子(Sop)/永田峰雄(Ten)/読売日本交響楽団
曲目 ワーグナー/楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」
第1幕への前奏曲、
歌劇「ローエングリン」から〈はるかな国〉
歌劇「ローエングリン」第3幕への前奏曲
歌劇「タンホイザー」から〈おこそかなこの広間よ〉
歌劇「タンホイザー」序曲
チャイコフスキー/バレエ音楽「くるみ割り人形」から、
ロココの主題による変奏曲
イタリヤ奇想曲
料金 S:7,200円/A:5,100円/B:4,100円/C:3,000円/
ジュニア:1,500円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

E 12日(月・祝) Closed・関係者のみ

2015年としま「成人の日のつどい」

F 15日(木) 12:15開演

東京芸術劇場ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.109

出演 中田恵子(Org)
曲目 J.S.バッハ/トリオト長調 BWV1027a
フローレンツ/「讃歌Op.5」より第7曲「光の主」 ほか
料金 【全席自由】500円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

G 16日(金) 19:00開演

都民劇場音楽サークル第624回定期公演 榎本大進&エリック・ル・サーージュ

出演 榎本大進(Vn)/エリック・ル・サーージュ(Pf)
曲目 フォーレ/ヴァイオリン・ソナタ第1番
ブーランク/ヴァイオリン・ソナタ
フォーレ/ロマンス
フランク/ヴァイオリン・ソナタ
料金 S:7,000円/A:6,000円/B:5,000円/C:4,000円
TEL 都民劇場 03-3572-4311

H 17日(土) 14:00開演

東京佼成ウインドオーケストラ 第122回定期演奏会

出演 トーマス・ザンデルリンク(Cond)/石田泰尚(Vn)/
東京佼成ウインドオーケストラ
曲目 ムソルグスキー(伊藤康英編)/歌劇「ソロチンスクの市」より
〈聖ヨハネ祭の夜〉
ハチャトゥリアン(木村牧麻編)/ヴァイオリン協奏曲
ムソルグスキー(ハインズレー編)/組曲「展覧会の絵」
料金 S:7,000円/A:5,500円/B:4,000円/C:1,000円
TEL 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

I 18日(日) 14:00開演

TSUKEMEN LIVE 2015 NEW YEAR CONCERT

出演 TSUKEMEN
料金 S:4,000円/A:3,000円(当日券各500円増)
TEL 東京第一友の会 03-3971-9602

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場 ボックスオフィス **0570-010-296** 休館日を除く 10:00～19:00
BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

J 23日(金) 19:00開演

読売日本交響楽団 第13回読響メトロポリタン・シリーズ

出演 下野竜也(Cond)/小森邦彦(Mar)/読売日本交響楽団
曲目 武満 徹/ジティマルヤ
マーラー/交響曲第5番
料金 S:7,200円/A:5,100円/B:4,100円/C:3,000円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

K 24日(土) 14:30開演

東京ニューシティ管弦楽団 第97回定期演奏会

出演 大井剛史(Cond)/遠藤真理(Vc)/
東京ニューシティ管弦楽団
曲目 ～自国への愛と世界へのあこがれ～
深井史郎/パロディ的な四楽章
尾高尚忠/チェロ協奏曲
ドヴォルザーク/交響曲第8番
料金 S:6,000円/A:4,500円/B:3,000円/C:2,000円/
小中高生:1,000円(保護者同伴S席を除く)
学生半額(25歳以下、S席を除く)/シニア割10%引き(60歳以上)
TEL 一般社団法人東京ニューシティ管弦楽団事務局 03-5933-3266

L 25日(日) 14:00開演

新交響楽団 第228回演奏会

出演 山下一史(Cond)/鈴木隆太(Org)/新交響楽団
曲目 ベルリオーズ/「ローマの謝肉祭」序曲
チャイコフスキー/バレエ音楽「白鳥の湖」
サン＝サーンス/交響曲第3番「オルガン付き」
料金 S:3,000円/A:2,500円/B:1,500円
TEL コンサートイマジン 03-3235-3777

M 26日(月) 18:30開演

live image cinema best

出演 小松亮太/手島 葵/羽毛田丈史/松谷 卓 ほか
曲目 ROOKIES 愛のテーマ「ROOKIES」より
ALWAYS 三丁目の夕日 Opening Title「ALWAYS 三丁目の夕日」テーマ曲
ニュー・シネマ・パラダイス「ニュー・シネマ・パラダイス」テーマ・カバー曲
テルーの唄 映画「ゲド戦記」挿入歌 ほか
料金 【全席指定】6,500円
TEL キョードー東京 0570-550-799

N 27日(火) 19:00開演

「四月は君の嘘」クラシックコンサート2015

出演 NAOTO(トーク,Vn)/篠原悠那(Vn)/阪田知樹(Pf)
曲目 サン＝サーンス/序奏とロンド・カプリチオーソ
クライスラー/愛の哀しみ ほか
料金 前売:4,000円/当日:4,500円
TEL ティーエーエヌジー 06-6850-7151

O 28日(水) 19:00開演

2015都民芸術フェスティバル参加公演 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

出演 宮本文昭(Cond)/若林 顕(Pf)/
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
曲目 モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」K.492(序曲)
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番
チャイコフスキー/交響曲第6番「悲愴」
料金 A:3,800円/B:2,800円/C:1,800円/
学生A:3,000円/学生B:2,200円/学生C:1,400円
TEL 公益社団法人日本演奏連盟 03-3539-5131

休館日 1日(木・祝)～3日(土)・13日(火)・19日(月)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。
※原則未就学児のご入場はお断りしています。
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

P 29日(木) Closed・関係者のみ

平成26年度板橋区立中学校 オークストラ鑑賞教室

Q 30日(金) 19:00開演

フレッシュ名曲コンサート 一度は聴きたいチャイコフスキー名曲選

出演 マルク・ゴレンシュテイン(Cond)/松本 蘭(Vn)/
安部まりあ(Pf)/東京交響楽団
曲目 チャイコフスキー/ピアノ協奏曲第1番
ヴァイオリン協奏曲 ほか
料金 【一般】S:4,000円/A:3,000円/B:2,000円/学生:1,000円
【友の会】S:3,500円/A:2,500円/B:1,500円
TEL としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

R 31日(土) 14:00開演

2015都民芸術フェスティバル参加公演 読売日本交響楽団

出演 沼尻竜典(Cond)/パヴェル・シュボルツル(Vn)/
読売日本交響楽団
曲目 スメタナ/連作交響詩「我が祖国」より〈モルダウ〉
ドヴォルザーク/ヴァイオリン協奏曲
交響曲第8番 ト長調
料金 A:3,800円/B:2,800円/C:1,800円/
学生A:3,000円/学生B:2,200円/学生C:1,400円
TEL 公益社団法人日本演奏連盟 03-3539-5131

Playhouse

A 16日(金)～17日(土)

芸劇dance ダンスファーム「近藤良平のモダン・タイムス」

構成・演出・振付 近藤良平
出演 北尾 亘/小林十市/近藤良平/篠原ともえ/清水ゆり/スズキ拓朗/たむらばん/デシルバ安奈/那須野綾/野坂 弘/三輪亜希子(50音順) + 一般参加のみなさん
料金 【全席指定】前売:3,500円/当日:4,000円/25歳以下:2,000円/65歳以上:3,000円/高校生割引:1,000円
※25歳以下、65歳以上、高校生割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い。(枚数限定・要証明書)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

1月	16金	17土
14:00		●
18:00		●
19:00	●	

Theatre East

A 7日(水)～9日(金) 19:30開演

芸劇+トーク 朗読「東京」(第3回)

演出 山本卓卓(範由遊泳)
企画監修・トーク聞き手 川本三郎
料金 【全席指定】一般:3,000円/65歳以上:2,500円/25歳以下:2,000円/高校生割引:1,000円
【お得なセット券】3公演セット券:6,000円/2公演セット券:4,500円(組み合わせ自由)
※65歳以上、25歳以下、高校生割引チケット及びセット券は、東京芸術劇場ボックスオフィスにて、前売のみ取扱い。(枚数限定・セット券以外は要証明書)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

7日(水)

「白痴」坂口安吾 作

出演 川口 寛/藤井美菜

8日(木)

「少年」谷崎潤一郎 作

出演 百瀬 朔/名児耶ゆり

9日(金)

「品川心中」(古典落語より)

出演 橋本 淳/宮菜穂子

B 14日(水)～18日(日)

劇団山の手事情社公演 「テンペスト」

構成・演出 安田雅弘 **原作** W.シェイクスピア
出演 山本芳郎/浦 弘毅/倉品淳子/山口笑美/久久保美智子/川村 岳/
岩淵吉能/斉木和洋 ほか
料金 【全席指定】一般…前売:4,500円/当日:5,000円/ペア:8,000円
大学・専門学生…前売:3,500円/当日:4,000円
高校生以下…前売:1,000円/当日:1,500円
TEL 劇団山の手事情社 03-6410-9056

1月	14水	15木	16金	17土	18日
14:00		●		●	
19:30	●	●	●	●	

C 23日(金)～2月1日(日)

eyes plus モダンスイマーズ「悲しみよ、消えないでくれ」

作・演出 蓬萊竜太
出演 古山憲太郎、津村知与支、小椋 毅、西條義将、生越千晴/
今藤洋子、伊東沙保/でんでん
料金 【全席指定】一般:3,000円/
高校生割引:1,000円(枚数限定/要証明書/東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い)
TEL 鳩森base 03-5413-4815(平日12:00～18:00)

1月	23金	24土	25日	26月	27火	28水	29木	30金	31土	2月1日
15:00		●	●				★		●	●
19:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

★ポストトーク等のイベントあり

Theatre West

A 5日(月) 19:00開演

新春談笑ショー'15

出演 立川談笑
ゲスト 松元ヒロ/ダーリンハニー
料金 【全席指定】一般:3,600円
TEL 夢空間 03-5785-0380

B 8日(木)～11日(日)

“STRAYDOG”Produce「悲しき天使」

原作 山之内幸夫「悲しき天使」
演出 森岡利行
料金 【全席指定】前売:4,500円/当日:5,000円/
高校生以下前売:2,500円/当日:3,000円
TEL “STRAYDOG” 03-6672-3503

1月	8木	9金	10土	11日
12:00				●
14:00			●	
16:00				●
19:00	●	●	●	

C 16日(金)～25日(日)

「新宿版 千一夜物語」

作 寺山修司 **構成・美術** 宇野亜喜良 **演出** 金 守珍(新宿梁山泊)
出演 稲荷卓央(唐組)/森 了蔵/林 勇輔(スタジオリフ)/広島 光/申 大樹/島本和人/加藤亮介/野澤 健/
水嶋カンナ/藤井由紀(唐組)/伊藤弘子(流山児事務所)/サヘル・ローズ/佐藤 泉(デリシャスウィーツ)/
有栖川ソワレ/森永理科/日和佐美香/神谷沙奈美/田村優依/若松武史/金 守珍/久久保鷹
演奏・出演 SHAKALABBITS(シャカラビッツ)
料金 【全席指定】前売:4,500円/当日:5,000円/学生シート:3,000円(Project Nyxのみ取扱い。限定席、要学生証)
TEL Project Nyx 03-6312-7031

1月	16金	17土	18日	19月	20火	21水	22木	23金	24土	25日
14:00		●	●	休		●	●		●	
19:00	●	●	●	演	●			●	●	●

D 28日(水)～2月1日(日)

カフェ アオギリ

出演 宇梶剛士/金井良信/若松 力 ほか
料金 前売指定:4,300円/前売自由:3,800円
当日指定:4,800円/当日自由:4,300円/学生:3,500円(自由席のみ)
TEL 劇団PATHOS PACK 090-4984-9618

1月	28水	29木	30金	31土	2月1日
14:00		●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	●

◆貸切公演



Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)/ソプラノ(Sop)/メゾ・ソプラノ(M.Sop)/アルト(Alt)/テノール(Ten)/バリトン(Bar)/バス(Bass)/コーラス(Chor)/フルート(Fl)/オーボエ(Ob)/クラリネット(Cl)/

A 5日(木) 19:00開演 BOX

都民劇場音楽サークル第625定期公演
プラハ・フィルハーモニア管弦楽団

出演 ヤクブ・フルシャ(Cond)/
プラハ・フィルハーモニア管弦楽団
曲目 スメタナ/連作交響詩「わが祖国」全曲
＜高い城＞＜モルダウ＞＜シャルカ＞
＜ボヘミアの森と草原より＞＜ターボル＞＜プラニーク＞
料金 S:10,000円/A:8,000円/B:6,000円/C:5,000円
TEL 都民劇場 03-3572-4311

B 6日(金) 19:00開演 BOX

読売日本交響楽団
第14回読響メトロポリタン・シリーズ

出演 広上淳一(Cond)/ボリス・ベルキン(Vn)/
読売日本交響楽団
曲目 ハチャトゥリアン/組曲「仮面舞踏会」から<ワルツ>
ショスタコーヴィチ/ヴァイオリン協奏曲 第1番
ショスタコーヴィチ/交響曲 第5番
料金 S:7,200円/A:5,100円/B:4,100円/C:3,000円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

C 7日(土) 14:00開演 BOX

2015都民芸術フェスティバル参加公演
東京フィルハーモニー交響楽団

出演 ロッセン・ゲルゴフ(Cond)/小山実稚恵(Pf)/
東京フィルハーモニー交響楽団
曲目 チャイコフスキー/歌劇「エフゲニ・オネーギン」より
＜ボロネーズ＞
ショパン/ピアノ協奏曲第1番
ブラームス/交響曲第1番
料金 A:3,800円/B:2,800円/C:1,800円/
学生A:3,000円/学生B:2,200円/学生C:1,400円
TEL 公益社団法人日本演奏連盟 03-3539-5131

D 8日(日) 14:00開演 BOX

オーケストラ・ダスピダーニャ
第22回定期演奏会

出演 長田雅人(Cond)/オーケストラ・ダスピダーニャ
曲目 ショスタコーヴィチ/交響詩「十月」
ニューバビロン
交響曲第8番
料金 【全席指定】2,000円
TEL オーケストラ・ダスピダーニャ事務局 090-4609-7752

E 11日(水・祝) 14:00開演 BOX

2015都民芸術フェスティバル参加公演
新日本フィルハーモニー交響楽団

出演 ダニエル・スミス(Cond)/宮田 大(Vc)/
新日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 ドヴォルザーク/序曲「謝肉祭」
チェロ協奏曲
交響曲第9番「新世界より」
料金 A:3,800円/B:2,800円/C:1,800円/
学生A:3,000円/学生B:2,200円/学生C:1,400円
TEL 公益社団法人日本演奏連盟 03-3539-5131

F 12日(木) 19:30開演 BOX

東京芸術劇場ナイトタイム・
パイプオルガンコンサートVol.8

出演 徳岡めぐみ(Org)
料金 【全席指定】1,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

G 14日(土) 15:00開演 BOX

クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

出演 有田正広(Cond)/豊嶋泰嗣(Vn)/
クラシカル・プレイヤーズ東京(オリジナル楽器使用)
曲目 ベートーヴェン/「レオノレ」序曲第3番
モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第5番
「トルコ風」K.219
ベートーヴェン/交響曲第5番「運命」
料金 S:4,000円/A:3,000円/B:2,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

お問合せ 東京芸術劇場
ボックスオフィス **0570-010-296** 休館日を除く
10:00～19:00 BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

H 15日(日) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団
第174回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 シルヴァン・カンブルラン(Cond)/
ニルス・メンケマイヤー(Vla)/読売日本交響楽団
曲目 武満 徹/鳥は星形の庭に降りる
バルトーク/ヴァイオラ協奏曲
アイヴズ/答えのない質問
ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界から」
料金 S:7,200円/A:5,100円/B:4,100円/C:3,000円/
ジュニア:1,500円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

I 18日(水) 19:00開演 BOX

2015都民芸術フェスティバル参加公演
東京都交響楽団

出演 レオシュ・スワロフスキー(Cond)/末永 匡(Pf)/
東京都交響楽団
曲目 ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
交響曲第6番「田園」
料金 A:3,800円/B:2,800円/C:1,800円/
学生A:3,000円/学生B:2,200円/学生C:1,400円
TEL 公益社団法人日本演奏連盟 03-3539-5131

J 22日(日) 15:00開演 BOX

東京芸術劇場シアターオペラvol.8
F.レハール/喜歌劇『メリー・ウィドウ』全幕

出演 ミヒャエル・バルケ(Cond)/セバスチャン・フップマン/
小林沙羅/ベーター・ボーディング/小川里美/
ジョン・健・ヌツォン/メラニー・ホリディ
読売日本交響楽団/東邦音楽大学合唱団 ほか
曲目 レハール/喜歌劇『メリー・ウィドウ』全幕
料金 S:10,000円/A:8,000円/B:6,000円/C:4,000円/
D:3,000円/E:1,500円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

K 23日(月) Closed・関係者のみ

第28回中学合唱コンクール

L 26日(木) 19:00開演 BOX

2015都民芸術フェスティバル参加公演
NHK交響楽団

出演 下野竜也(Cond)/竹澤恭子(Vn)/NHK交響楽団
曲目 ロッシーニ/歌劇「シンデレラ」序曲
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲
ドヴォルザーク/交響曲第8番
料金 A:3,800円/B:2,800円/C:1,800円/
学生A:3,000円/学生B:2,200円/学生C:1,400円
TEL 公益社団法人日本演奏連盟 03-3539-5131

Playhouse

A 3日(火)～22日(日) BOX

NODA・MAP 第19回公演「エッグ」

作・演出 野田秀樹 音楽 椎名林檎
出演 妻夫木 聡/深津絵里/仲村トオル/秋山菜津子/大倉孝二/藤井 隆/野田秀樹/橋爪 功
料金 【全席指定】S:9,800円/A:7,800円/サイドシート:5,500円※
高校生割引:1,000円(枚数限定/要証明書/東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い)
※25歳以下の方は、東京芸術劇場ボックスオフィスでのみサイドシート3,000円にてご購入いただけます。(入場時要証明書)
TEL NODA・MAP 03-6802-6681

Theatre East

A ～1日(日) 15:00開演 BOX

eyes plus
モダンスマーズ「悲しみよ、消えないでくれ」

作・演出 蓬萊竜太
出演 古山憲太郎、津村知与支、小椋 毅、西條義将、生越千晴/今藤洋子、伊東沙保/でんでん
料金 【全席指定】一般:3,000円/
高校生割引:1,000円(枚数限定/要証明書/東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い)
TEL 鳩森base 03-5413-4815(平日12:00～18:00)

Theatre West

A ～1日(日) 14:00開演

カフェ アオギリ

出演 宇梶剛士/金井良信/若松 力 ほか
料金 前売指定:4,300円/当日指定:4,800円/
前売自由:3,800円/当日自由:4,300円/学生:3,500円(自由席のみ)
TEL 劇団PATHOS PACK 090-4984-9618

B 2日(月) 19:00開演 BOX

芸劇＋トーク 異世代リーディング「自作自演」(第12回)

出演 船屋法水×江本純子 トーク聞き手 徳永京子(演劇ジャーナリスト)
料金 【全席指定】一般:3,000円/65歳以上:2,500円/25歳以下:2,000円/高校生割引:1,000円
※65歳以上、25歳以下、高校生割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスにて、前売のみ取扱い。(枚数限定・要証明書)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

B 25日(水)～26日(木) 19:00開演 BOX

2015都民芸術フェスティバル参加公演
現代舞踊公演

作 上原尚美/高野美智子/内田 香
料金 【全席指定】全席4,000円(2階席一部学生割引有)
TEL 一般社団法人現代舞踊協会 03-5457-7731

C 28日(土)～3月1日(日) 13:00開演

2015都民芸術フェスティバル参加公演
第46回東京都民俗芸能大会—江戸前の芸能—

料金 【全席自由】入場無料(要事前申込/1月23日消印有効)
TEL 東京都民俗芸能大会実行委員会事務局 042-544-3936

C 6日(金)～15日(日)

あつ苦しい兄弟～港のふたり編～

作・演出 中島淳彦
出演 村田雄浩/青山 勝/東 てる美/井之上隆志/小林美江/
桑原裕子/福島勝美/山口森広/塚原大助/今谷フシ/
竹石悟朗/藤井俊輔/吉田芽吹/かんのひとみ
料金 【全席指定】前売:4,700円/当日:5,000円/学生:3,000円(入場時学生証提示)
TEL プリエール 03-5942-9025(平日11:00～18:00)

C 5日(木) 19:00開演

三遊亭王楽 独演会

料金 【全席指定】3,600円
TEL 夢空間 03-5785-0380(平日10:00～18:00)

2月 6日(金) 7日(土) 8日(日) 9日(月) 10日(火) 11日(水) 12日(木) 13日(金) 14日(土) 15日(日)

14:00
19:00

作・演出 中島淳彦
出演 村田雄浩/青山 勝/東 てる美/井之上隆志/小林美江/
桑原裕子/福島勝美/山口森広/塚原大助/今谷フシ/
竹石悟朗/藤井俊輔/吉田芽吹/かんのひとみ
料金 【全席指定】前売:4,700円/当日:5,000円/学生:3,000円(入場時学生証提示)
TEL プリエール 03-5942-9025(平日11:00～18:00)

D 19日(木)～26日(木) BOX

The River

作 Jez Butterworth 翻訳 高田曜子 演出 青木 豪
出演 岡本健一/南沢奈央/鬼頭典子/森尾 舞
料金 【全席指定】
一般:6,000円/U-25:4,000円
プレビュー(19日):5,500円/U-25:3,500円
TEL 公益社団法人日本劇団協議会 03-5909-4600/ゴーチ・ブラザーズ 03-6809-7125

2月 19日(木) 20日(金) 21日(土) 22日(日) 23日(月) 24日(火) 25日(水) 26日(木)

13:00
14:00
18:30
19:30

★＝プレビュー公演

○＝視覚障害者のための「舞台説明会」、◎＝聴覚障害者のための「ボータブル字幕機提供」
実施(要予約)

D 10日(火)～26日(木) BOX

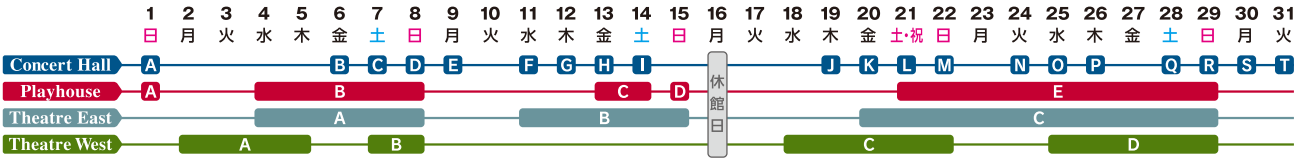
Roots vol.2
「狂人なおもて往生をとぐ～昔、僕達は愛した～」

作 清水邦夫 演出 熊林弘高 ドラマターグ 木内宏昌
出演 福士誠治/緒川たまき/門脇 麦/葉山奨之/鷲尾真知子/中嶋しゅう
料金 【全席指定】前売:5,800円/当日:6,000円/65歳以上:5,000円/25歳以下:3,500円/高校生割引:1,000円
※65歳以上、25歳以下、高校生割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスにて、前売のみ取扱い。(枚数限定・要証明書)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

2月 10日(火) 11日(水) 12日(木) 13日(金) 14日(土) 15日(日) 16日(月) 17日(火) 18日(水) 19日(木) 20日(金) 21日(土) 22日(日) 23日(月) 24日(火) 25日(水) 26日(木)

14:00
19:00

作 清水邦夫 演出 熊林弘高 ドラマターグ 木内宏昌
出演 福士誠治/緒川たまき/門脇 麦/葉山奨之/鷲尾真知子/中嶋しゅう
料金 【全席指定】前売:5,800円/当日:6,000円/65歳以上:5,000円/25歳以下:3,500円/高校生割引:1,000円
※65歳以上、25歳以下、高校生割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスにて、前売のみ取扱い。(枚数限定・要証明書)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296



Concert Hall 音楽略号：指揮 (Cond) / ソプラノ (Sop) / メゾ・ソプラノ (M.Sop) / アルト (Alt) / テノール (Ten) / バリトン (Bar) / バス (Bass) / コーラス (Chor) / フルート (Fl) / オーボエ (Ob) / クラリネット (Cl) /

A 1日(日) 14:00開演

日立フィルハーモニー管弦楽団
第38回定期演奏会

出演 武藤英明(Cond) / 日立フィルハーモニー管弦楽団
曲目 ワーグナー / 歌劇「さまよえるオランダ人」序曲
ベートーヴェン / 交響曲第7番
ドヴォルザーク / 交響曲第7番
料金 前売:1,500円 / 当日:2,000円
TEL 日立フィル事務局 070-6666-4711

B 6日(金) 19:00開演 無料

陸上自衛隊第1音楽隊 第39回定期演奏会

出演 隊長: 穴戸 隆(Cond) / 陸上自衛隊第1音楽隊
曲目 クラシック、ポップス ほか
料金 無料(要往復ハガキによる事前申込み)
TEL 陸上自衛隊第1師団 03-3933-1161(内線218)

C 7日(土) 14:00開演 BOX

東京芸術劇場 海外オーケストラシリーズⅢ
フィルハーモニア管弦楽団

出演 エサ=ベッカ・サロネン(Cond) / ヒラリー・ハーン(Vn) /
フィルハーモニア管弦楽団
曲目 シベリウス / 交響詩「トゥオネラの白鳥」『レンシカイネン』
組曲 op.22 より 第2曲
ブラームス / ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.77
ベートーヴェン / 交響曲第3番 変ホ長調「英雄」 op.55
料金 SS:22,000円 / S:19,000円 / A:15,000円 /
B:11,000円 / C:7,000円 / D:4,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

D 8日(日) 14:00開演 BOX

東京都交響楽団「作曲家の肖像」シリーズVol.101

出演 エリアフ・インバル(Cond) / 河村尚子(Pf) / 東京都交響楽団
曲目 シューマン / 「マンフレッド」序曲
ピアノ協奏曲
交響曲第4番 (1851年改訂版)
料金 S:6,800円 / A:5,800円 / B:4,800円 / C:3,800円 / Ex:2,500円
TEL 都響ガイド 03-3822-0727

Playhouse

A ~1日(日) 13:00開演

2015都民芸術フェスティバル参加公演
第46回東京都民俗芸能大会―江戸前の芸能―

料金 【全席自由】入場無料(要事前申込/1月23日消印有効)
TEL 東京都民俗芸能大会実行委員会事務局 042-544-3936

Theatre East

A 4日(水)~8日(日) BOX

コンドルズ 東京公演

料金 【全席指定】5,000円
TEL ROCKSTAR株式会社 03-5272-0991

Theatre West

A 2日(月)~5日(木)

JIU芸術祭

料金 【全席自由】前売:3,000円 /
当日:3,500円
TEL 城西国際大学メディア学部 03-6238-8500

E 9日(月) 19:00開演 BOX

2015都民芸術フェスティバル参加公演
日本フィルハーモニー交響楽団

出演 田中祐子(Cond) / 横山幸雄(Pf) / 日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 プロコフィエフ / 古典交響曲
モーツァルト / ピアノ協奏曲 第26番 K.537「戴冠式」
交響曲第40番 K.550
料金 A:3,800円 / B:2,800円 / C:1,800円 /
学生A:3,000円 / 学生B:2,200円 / 学生C:1,400円
TEL 公益社団法人日本演奏連盟 03-3539-5131

F 11日(水) Closed・関係者のみ

東北復興支援コンサート

G 12日(木) 12:15開演 BOX

東京芸術劇場ランチタイム・
パイプオルガンコンサートVol.110

出演 新山恵理(Org)
料金 【全席自由】500円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

H 13日(金) 19:00開演 BOX

芸劇ウインド・オーケストラ 第1回演奏会

出演 井上道義(Cond) / 芸劇ウインド・オーケストラ(吹奏楽)
曲目 メンデルスゾーン / 吹奏楽のための序曲
三善 晃 / クロス・バイ・マーチ
権代敦彦 / Time No Longer~もはや時がない~
(芸劇委嘱作品世界初演)
チャイコフスキー / バレエ音楽より抜粋
料金 【全席指定】2,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

I 14日(土) 14:30開演 BOX

東京ニューシティ管弦楽団
第98回定期演奏会

出演 内藤 彰(Cond) / カレヴィ・キヴィニエミ(Org) /
東京合唱協会 / 東京ニューシティ管弦楽団
曲目 ブーランク / オルガン協奏曲
メンデルスゾーン / 交響曲第2番「賛歌」
料金 S:6,000円 / A:4,500円 / B:3,000円 / C:2,000円
TEL 一般社団法人東京ニューシティ管弦楽団 03-5933-3266

J 19日(木) 18:30開演

ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ
第55回定期演奏会

出演 武井啓剛(Cond) / 慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ
曲目 エロール / 歌劇「ザンパ」序曲
ボロティン / 歌劇「イーゴリ公」より「韃靼人の踊り」
サン=サーンス / 交響曲第3番「オルガン付き」
料金 S:700円 / A:500円
TEL 慶應義塾高等学校ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ 080-5879-7559

K 20日(金) 19:00開演 BOX

東京芸術劇場パイプオルガンコンサート
Vol.19~小糸 恵 オルガン・リサイタル~

出演 小糸 恵(Org)
料金 S:3,000円 / A:2,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ

東京芸術劇場
ボックスオフィス

0570-010-296

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

休館日を除く
10:00~19:00

L 21日(土・祝) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団
第175回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 ジェラルド・コルステン(Cond) / エヴァ・メイ(Sop) / 読売日本交響楽団
曲目 モーツァルト / 交響曲 第38番 K.504「ブラハ」
演奏会用アリシア「あわれ、こははずこ」K.369
歌劇「皇帝ティートの慈悲」から(夢に見し花嫁姿)
歌劇「イドメネオ」から(オレステとアイアスの苦しみ)を
交響曲第35番 K.385「ハフナー」 ほか
料金 S:7,200円 / A:5,100円 / B:4,100円 / C:3,000円 / ジュニア:1,500円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

M 22日(日) 14:00開演 BOX

東京イギンコンサート
「華やかに、いきいきと輝く息吹。そこに私はいる。」

出演 齊藤一郎(Cond) / 南部れいひ(Vn) / 東京フィルハーモニー交響楽団
曲目 〈第一部〉シベリウス / 組曲「カレリア」から第3曲(行進曲風に)
チャイコフスキー / ヴァイオリン協奏曲
〈第二部〉ショスタコーヴィチ / 交響曲第5番「革命」第4楽章
ベルリオーズ / 幻想交響曲第5楽章
シベリウス / 交響詩「フィンランディア」
料金 S:6,000円 / A:4,000円
TEL イギン(株)広報室 03-5495-1911

N 24日(火) 19:00開演 BOX

2015都民芸術フェスティバル参加公演
東京交響楽団

出演 高関 健(Cond) / 周防亮介(Vn) / 東京交響楽団
曲目 バガニニー / ヴァイオリン協奏曲第1番
ベルリオーズ / 幻想交響曲
料金 A:3,800円 / B:2,800円 / C:1,800円 /
学生A:3,000円 / 学生B:2,200円 / 学生C:1,400円
TEL 公益社団法人日本演奏連盟 03-3539-5131

C 13日(金)~14日(土) BOX

フラメンコ 伝統とモダンを踊る

台本・構成・演出 小松原庸子
振付 マリベル・ガジャルド、クリスティアン・ベレス 音楽プラン ドランテス 作曲 ドランテス
出演 マルコ・バルガス、フリージョ、ファン・オガジャ、J・C・ペルランガ、ドランテス、
小松原庸子スペイン舞踊団
料金 【全席指定】SS:12,000円 / S:10,000円 / A:8,000円 / B:6,000円
TEL 株式会社ソル・デ・エスパーシャ 03-3314-2568

C 20日(金)~29日(日) BOX

eyes plus アマヤドリ「悪い冗談」

作・演出 広田淳一 出演 笠井里美 / 松下 仁 / 渡邊圭介 / 小角まや / 柳葉津美 / 糸山和則 / 沼田星麻 / 中野智恵梨 / 中村早香 ほか
料金 【全席指定】前売:3,800円 / 当日:4,000円 / 学生前売:2,500円 / 学生当日:2,800円 / 高校生割引:1,000円 ☆前半割引…前売:3,000円 / 当日:3,300円
◎平日昼間割引…前売:3,000円 / 当日:3,300円 タダ観でゴー! :0円(枚数限定・劇団予約のみ) TEL 合同会社プランブル 090-2936-2116

C 18日(水)~22日(日)

就活ミュージカル!

脚本 日黒淨華 演出 一見直樹
料金 【全席指定】前売:3,000円 / 当日:4,000円
TEL The musical project for freedom 03-6861-3553

O 25日(水) 18:30開演 無料

立教池袋中学校・高等学校吹奏楽部
第17回定期演奏会

出演 西澤宏佳(Cond) / 立教池袋中学校・高等学校吹奏楽部
曲目 ホセイ / オペレーション オーヴァーチュア
ガーシュイン / キューバ序曲
ジョーンズ / クインテッセン
ニューサム / 交響的「デューク・エリントン」
料金 【全席指定】無料(要事前問合せ)
TEL 立教池袋中学校・高等学校吹奏楽部 rikkyo-wo@live.jp

P 26日(木) 18:45開演 BOX

オーケストラとうたう日本の合唱曲vol.2

出演 新実徳英、郡司 博、渡部智也 ほか(Cond) /
オラトリオ・シンフォニカJAPAN / 東京オラトリオ研究会 /
新星合唱団 ほか
曲目 新実徳英(詩:和合亮一) / 「つぶてソング」
上田真樹(詩:きむらゆういち) / 「あらしのよるに」
鶴崎庚一 / 「女声合唱のためのメドレー日本の風景」より ほか
料金 S:4,000円 / A:3,000円
TEL おながくの共同作業場 042-522-3943

Q 28日(土) 18:00開演 BOX

東日本大震災復興に寄せるチャリティコンサート
明日へ
日本声楽家協会設立20周年記念公演

出演 高橋大海、山本 真(Cond) / 佐藤しのぶ / 伊原直子 / 川上洋司 /
高橋啓三 / 小林沙羅 / 望月哲也 / 今尾 滋 / 宮本益光 / 島崎智子 /
甲斐栄次郎 / 三宅理恵 / 手嶋眞佐子 ほか 特別編成オーケストラ
曲目 〈第1部〉ベートーヴェン / 交響曲第9番第4楽章
〈第2部〉ヴェルディ / 椿姫より「乾杯のうた」 ほか
〈第3部〉モーツァルト / フィガロの結婚(ハイライト)
料金 S:5,500円 / A:4,500円 / B:3,500円
TEL NPO法人日本声楽家協会 03-3821-5166

D 15日(日) 14:30開演

第8回CAFフラメンコ・
コンクール本選

料金 【全席指定】5,000円
TEL 公益財団法人スペイン舞踊振興
MARUWA財団
03-5419-6513

E 21日(土・祝)~29日(日)

ミュージカル
「神様はじめました」

原作 鈴木ジュリエッタ(白泉社「花とゆめ」連載中) 脚本・演出 秦 建日子
出演 寺島 咲、八神 蓮、南 圭介 ほか
料金 【全席指定】S:9,000円 / A:6,500円 / B:5,500円
TEL 株式会社キャンビット 03-6278-8963

休館日 | 16日(月)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。
※原則未就学児のご入場はお断りしています。
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

R 29日(日) 15:00開演 BOX

東京芸術劇場&ミューザ川崎シンフォニーホール共同企画
第4回音楽大学フェスティバル・オーケストラ

出演 ユベール・スダーン(Cond) / 音楽大学フェスティバル・オーケストラ
曲目 グリンカ / 歌劇「ルスランとリュミラ」序曲
レスピーギ / 交響詩「ローマの松」
ムソルグスキー (ラヴェル編) / 組曲「展覧会の絵」
料金 S:2,000円 / A:1,500円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

S 30日(月) 13:30開演/15:30開演 BOX

芸劇&読響
0才から聴こう!!春休みふれあいコンサート

出演 梅田俊明(Cond) / 鷲尾麻衣(Sop) /
中井美穂(ナビゲーター) / 読売日本交響楽団
曲目 チャイコフスキー / 歌劇「エフゲニ・オネーギン」から「ボロネーズ」
ヨハン・シュトラウス2世 / ワルツ「春の声」
チャイコフスキー / バレエ音楽「くるみわり人形」から「花のワルツ」 ほか
料金 S:3,500円 / A:2,500円 / こども(3才以上小学生まで)
S席・A席共通:1,000円
※0才から入場可能。2才児まで保護者の膝上の場合無料
(保護者1名につき子供1名まで)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

T 31日(火) 15:30開演 BOX

第11回 子どもたちと芸術家の
出あう街2015

出演 飯森範親(Cond) / 内田恭子(ナレーター) / 東京交響楽団
曲目 ホルスト / 組曲「惑星」
料金 S席子ども:2,000円 / 大人:4,000円
A席子ども:1,500円 / 大人:3,000円
B席子ども:1,000円 / 大人:2,000円
※「子ども」は、4歳から高校生まで(0~3歳児は入場できません)
TEL TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511

	3月	21 土・祝	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日
13:00		●	●		●			●		
18:00	●								●	●
19:00			●	●	●	●	●			

脚本・演出 秦 建日子

	3月	20 金	21 土・祝	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日
14:00			☆	☆			◎			●	●
19:00			☆	☆						●	
19:30	☆			●	●	●	●	●			

☆前半割引 ◎平日昼間割引

	3月	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日
14:00		●		●	●	
19:00	●	●	●	●		

作 趙 博 演出 金 守珍 出演 趙 博 / 三浦伸子 / 渡会久美子 / 広島 光 ほか

料金 【全席指定】前売:4,500円 / 当日:5,000円 / 学生:3,500円 TEL 新宿梁山泊 03-3385-7971

Gallery 1			
1	9日(金)～11日(日) 日本書学研究会 一先会 東京支局展 TEL 荻山 03-3961-2432	15日(木)～18日(日) 高橋静豪傘寿の書 ー親蘭亭を書くー TEL 高橋 03-3358-4786	21日(水)～25日(日) 第6回 monochrome展 TEL 片桐 03-5952-9333
	1月28日(水)～2月2日(月) Gallery 1・2同時開催 東京都特別支援学校 第23回 総合文化祭展示部門 展覧会 TEL 東京都教育庁指導部管理課 03-5321-1111 内線53-726	無 料	無 料
2	5日(木)～9日(月) Gallery 1・2同時開催 平成26年度 第58回 大東文化大学書道部校外展 TEL 森山 080-1792-5211	11日(水・祝)～15日(日) 第49回 書華会展 TEL 西尾 03-3964-7421	18日(水)～21日(土) 玉川大学芸術学部ビジュアル・アーツ学科 卒業プロジェクト作品展 TEL 藤枝 042-739-8084
	22日(日)～26日(木) 東京芸術祭2015 歴史を刻む秀作展 TEL 藝術出版社 03-3464-4451	2月28日(土)～3月3日(火) Gallery 1・2 Atelier East・West同時開催 尚美学園大学卒業制作展 TEL 尚美学園大学卒業2015実行委員会 049-246-2700	無 料
3	6日(金)～8日(日) Gallery 1・2同時開催 第28回 全国シルバー・わかば書道展 TEL カヤハラ 03-3462-5251	12日(木)～15日(日) Gallery 1・2同時開催 第33回 日本革工芸展 TEL 日本革工芸会事務局 03-5823-4203	18日(水)～23日(月) バスケットリージャパン 2015 TEL 神 03-3629-6469
	27日(金)～30日(月) Gallery 1・2同時開催 第14回 都会の中で見つけた 自然・押花芸術展 TEL ヴォーグ学園東京校 03-5261-5085	無 料	無 料

Gallery 2			
1	1月28日(水)～2月2日(月) Gallery 1・2同時開催 東京都特別支援学校 第23回 総合文化祭展示部門 展覧会 TEL 東京都教育庁指導部管理課 03-5321-1111 内線53-726	無 料	
	5日(木)～9日(月) Gallery 1・2同時開催 平成26年度 第58回 大東文化大学書道部校外展 TEL 森山 080-1792-5211	19日(木)～22日(日) 鳥越デジカメ教室・ 写真展2015 TEL 鳥越 090-2543-7386	23日(月)～26日(木) 第48回 なるほど展 TEL (一社) 婦人発明家協会 03-3812-9661 ※Atelier East・Westでは、18日(水)より開催。
2	2月28日(土)～3月3日(火) Gallery 1・2 Atelier East・West同時開催 尚美学園大学卒業制作展 TEL 尚美学園大学卒業2015実行委員会 049-246-2700	無 料	無 料
	6日(金)～8日(日) Gallery 1・2同時開催 第28回 全国シルバー・わかば書道展 TEL カヤハラ 03-3462-5251	12日(木)～15日(日) Gallery 1・2同時開催 第33回 日本革工芸展 TEL 日本革工芸会事務局 03-5823-4203	27日(金)～30日(月) Gallery 1・2同時開催 第14回 都会の中で見つけた 自然・押花芸術展 TEL ヴォーグ学園東京校 03-5261-5085
3			

1	9日(金)～12日(月・祝) ANONYMART -vision- TEL 山中 090-2402-9362	16日(金)～18日(日) Atelier East・West同時開催 天雅書院創立五十周年展 TEL 覚来 03-3557-1881	無 料	無 料
	4日(水)～9日(月) 東京朝鮮中高級学校 美術部展 TEL 崔 090-2940-9491	10日(火)～15日(日) 桐美展 TEL 山下 090-5571-4647	18日(水)～26日(木) 第48回 なるほど展 TEL (一社) 婦人発明家協会 03-3812-9661 ※Gallery2では、23日(月)より開催。	2月28日(土)～3月3日(火) Gallery 1・2 Atelier East・West同時開催 尚美学園大学卒業制作展 TEL 尚美学園大学卒業2015実行委員会 049-246-2700
2	4日(水)～8日(日) 第29回 金曜会絵画展 TEL 小笠原 03-3969-4982	13日(金)～15日(日) 酔遊志作品展 TEL 阿部 03-3917-2631	18日(水)～22日(日) 第5回 雑司が谷デジカメクラブ作品展 TEL 上條 03-3918-3282	24日(火)～30日(月) 第6回 保谷フォトクラブ写真展 TEL 伊東カメラ店内 保谷フォトクラブ 03-5387-1041

Atelier East

9日(金)～12日(月・祝) 無 料

16日(金)～18日(日) 無 料

1 ANONYMART -vision-
TEL 山中 090-2402-9362
天雅書院創立五十周年展
TEL 覚来 03-3557-1881

4日(水)～9日(月) 無 料

10日(火)～15日(日) 無 料

18日(水)～26日(木) 無 料

2月28日(土)～3月3日(火) 無 料

2 東京朝鮮中高級学校
美術部展
TEL 崔 090-2940-9491
桐美展
TEL 山下 090-5571-4647
第48回 なるほど展
TEL (一社) 婦人発明家協会
03-3812-9661
※Gallery2では、23日(月)より開催。
Gallery 1・2 Atelier East・West同時開催
尚美学園大学卒業制作展
TEL 尚美学園大学卒業2015実行委員会
049-246-2700

4日(水)～8日(日) 無 料

13日(金)～15日(日) 無 料

18日(水)～22日(日) 無 料

24日(火)～30日(月) 無 料

3 第29回 金曜会絵画展
TEL 小笠原 03-3969-4982
酔遊志作品展
TEL 阿部 03-3917-2631
第5回 雑司ヶ谷デジカメクラブ作品展
TEL 上條 03-3918-3282
第6回 保谷フォトクラブ写真展
TEL 伊東カメラ店内
保谷フォトクラブ 03-5387-1041

Atelier West

1

8日(木)～12日(月・祝)
ギャラリー大作戦7
～ひよこの大行進
TEL 小関 090-2167-8152

無料

16日(金)～18日(日)
Atelier East・West同時開催
天雅書院創立五十周年展
TEL 覚来 03-3557-1881

無料

2

10日(火)～15日(日)
東京地下鉄親交会写真部
「My写真館10」
TEL 内村 080-5536-4205

無料

18日(水)～26日(木)
第48回 なるほど展
TEL (一社)婦人発明家協会
03-3812-9661
※Gallery2では、23日(月)より開催。

無料

2月28日(土)～3月3日(火)
Gallery 1・2 Atelier East・West同時開催
尚美学園大学卒業制作展
TEL 尚美学園大学卒業2015実行委員会
049-246-2700

無料

3

5日(木)～10日(火)
平成26年度「東京空襲資料展」
TEL 東京都生活文化局
文化事業課記念行事係
03-5388-3141

無料

13日(金)～15日(日)
古流いけばな作品展
TEL 栗原 03-5998-6474

無料

18日(水)～23日(月)
第42回 伊藤嘉朗賞
ファイナリスト 舞台美術展
TEL 日本舞台美術家協会
03-6300-9104

無料

芸劇ウインド・オーケストラ 第1回演奏会

3月13日(金) 19:00開演 コンサートホール

詳細はP15へ



指揮：井上道義 吹奏楽：芸劇ウインド・オーケストラ

メンデルスゾーン／吹奏楽のための序曲
三善 晃／クロス・パイ・マーチ
権代敦彦／Time No Longer ～もはや時がない～
(芸劇委嘱作品世界初演)

チャイコフスキー／バレエ音楽より抜粋

井上道義 × 権代敦彦 × 芸劇ウインド・オーケストラ=!?

次世代の音楽家を育成するため、今年度から始まった吹奏楽プロジェクト「芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー」(芸劇WOA)。初年度の今年は300名以上の応募者の中から選ばれた、38名の若き精鋭たちだ。9月より日本を代表する吹奏楽団である東京佼成ウインドオーケストラと、音楽家のキャリア教育に定評のある上野学園大学の協力のもと、レッスン、キャリアアップゼミ、室内楽コンサートなどの活動を行い、研鑽を積んできた。

本アカデミー受講生で構成された「芸劇ウインド・オーケストラ」が、指揮者に井上道義を迎え、これまでの成果を披露する初の本格的演奏

会に挑む。さらに、現代を代表する作曲家権代敦彦が、今回の演奏会のために書いた自身初の吹奏楽作品が世界初演される。いつもオドロキのパフォーマンスで聴衆を魅了するマエストロと、今をときめく作曲家、そして若き精鋭たちが出会い、どんな化学反応を起こすだろうか!? 是非とも会場で聴き届けてほしい。



芸劇WOA(ゼミ)

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 協力：東京佼成ウインドオーケストラ(演奏活動支援及びレッスン)／上野学園大学(キャリアアップゼミコーディネート) 助成：平成26年度 文化庁劇場・音楽堂等活性化事業／一般財団法人地域創造

第11回 子どもたちと芸術家の出あう街2015

3月31日(火) コンサートホール、ミーティングルーム、リハーサルルーム ほか

詳細はP16へ

ホンモノの感動体験が、未来の夢への第一歩。

子どもの可能性は無限大。ホンモノの感動体験はその可能性を上げ、未来の夢につながります。今回のテーマは“未来への果てなき夢”。ホルスト作曲「惑星」全曲を、宇宙に関する神話や科学、音楽の解説を交えた迫力ある映像とともにお届けするオーケストラコンサートをはじめ、宇宙をキーワードにしたさまざまなアートイベントや、芸術体験ができるワークショップを開催します。この春、東京芸術劇場内各所が会場となる「子どもたちと芸術家の出あう街」へ、さまざまな芸術や芸術家と出あいに行ってみませんか。

<オーケストラコンサート>

コンサートホールにて15時30分開演
指揮：飯森範親 ナレーター：内田恭子
オーケストラ：東京交響楽団
ホルスト／組曲「惑星」作品32 全曲
(映像とナレーション付)
※4歳以上からご入場いただけます。



飯森範親



内田恭子

<ワークショップ>

「指揮」「工作」「バレエ」「雅楽」「楽器体験」「華道」「書道」「合唱」の8種類
ミーティングルーム、リハーサルルームほかで10時～順次(要事前申込)

<無料イベント>

講演会「未来への果てなき夢、宇宙」13時～(整理券配布11時～)
移動プラネタリウム 10時20分～(整理券配布10時～)
JAXA&国立天文台スペースミュージアム 11時～ ほか

詳しくはコチラ▶ <http://tokyosymphony.jp/pc/kodomo2015/index.html>

主催：東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団／子どもたちと芸術家の出あう街実行委員会 企画：公益財団法人東京交響楽団 制作：公益社団法人日本オーケストラ連盟／公益財団法人東京交響楽団

アーツアカデミー 東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

東京芸術劇場では、2013年から、アーツカウンシル東京が行う人材育成事業「アーツアカデミー」の一環として、プロフェッショナルな専門人材の育成を行っています。将来、公共劇場等で活躍するスタッフを育成するため、制作・舞台技術の2つの専門分野で研修生を募集します！また、2月3日にはシアターイーストにて、現在研修を続けている若手人材が自ら企画した公演も予定しています。いずれもHP等で詳細を発表しますので、お見逃しなく。

www.geigeki.jp

主催：アーツカウンシル東京／東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



ONE'S
voice

野田秀樹 × アイタイヒト

野田秀樹 × 衣裳家 ひびのこづえ

リアルには存在しないものを、衣裳という形にする。

俳優が躍動し、物語は時空を超え、詩のようなせりふが現実を引き寄せる――。

そんな野田秀樹の舞台の衣裳を、この25年、ほとんど手がけてきたのが、コスチューム・アーティストのひびのこづえさんだ。

脚本、演出、俳優を兼ねる多彩な異能の人と並走する苦労と、日々の創作から生まれる芸劇への提案を聞いた。

俳優・野田秀樹と、 演出家・野田秀樹を取り合う

野田 東宝がプロデュースした『から騒ぎ』で仕事をしたのが最初だね。あれが90年だから、もう25年前になるんだ。

ひびの あの時、誰が私に決めてくれたんですか？

野田 僕が自分より更に若い世代と仕事をしたくて「若い人でいい衣裳デザイナーいない？」と聞いたら名前が挙がったんです。

ひびの ずっと気になっていたことをようやく聞けました(笑)。

野田 でも、一番最初に出してくれたプランは、今のひびのこづえを知っている人が観たら、きっと信じられないくらいおとなしいものだったね。

ひびの そうそう。それまでは小劇場の衣裳は手がけたことがありましたが、『から騒ぎ』は日生劇場という大きな劇場だったし、衣裳の縫製も外注だし、いつも私がつくっているような衣裳はつくれないかもと勝手に思ってた。それを野田さんに見透かされて「やりたいようにやってほしい」と言ってもらえたのがとても良かったんです。

野田 そうしたら、次に持ってきてくれたものが「やりたいようにも程がある」だった(笑)。「こんな大きなものを頭に被せますか？」という。

ひびの おかげさまで吹っ切れたので(笑)。

野田 当時はまだパブル時代だったから、予算も潤沢でね。ただでさえ、絢爛豪華で手の込んだひびのさんのデザインを、二幕から一幕と形は同じで色だけすべて、白黒にして欲しい、といったようなアイデアがすんなり通っ

た。今だと「照明で何とかして」という話になってしまうよ。

ひびの 私、時々、「野田さんにとって衣裳って何だろう？」と寂しくなることがあるんですよ。

野田さんが役者として作品に出演している場合は特に。稽古が始まると、演出家・野田秀樹と話し合う時間が減って、置いていかれた気持ちになるんです。

野田 それは他のデザイナー（照明や美術）からも言われますね。“野田、早く役者を辞めろ”説。

ひびの 辞めてほしくはないです。私は台本さえ早めにもらえればいいの。

野田 それは全くその通りです、はい(笑)。

ひびの 稽古が始まる少し前にでも完成した台本があると、ある時期に野田さんを独占して打ち合わせができるんですけど、書き上

がった日に稽古が始まると、そうは行かないじゃないですか。それに稽古場でどんどん新しいアイデアが生まれていくと、なかなか追いつけなくなる。ペースがしっかり固まった上で新しいオーダーが来るならいいんですが、私の中ではベースが固まっていない、野田さんとも確認が取れていない状況で現場が先へ進んで行くと、揺れるんです。しかも野田さんの頭の中では、役者をどう動かすかという問題に意識が集中していく。最近は稽古場に出かけて行って野田さんを捕まえて話すようにしていますが、それでもなかなか……。

野田 そうだね。演出が最後まで出来上がっていないのに、稽古場でのアイデアを僕がポンポン言うから「そういうことならこの衣裳は成立しないけど？」となってしまうのはよくわかる。……ん？ 今日は反省会？(笑)

ひびの いえいえ(笑)、せっかくこうして野田さんと話をする時間をもらえたから、どういふうに思っているのかなと。

野田 言ってもらったことはよくわかるし、大きい反省材料です。照明は稽古が進行してからも間に合うけど、衣裳と装置は相当前から準備が必要だからね。

あえて少しの不完全さを残すのが演劇

ひびの 『エッグ』の初演(2012年)は本当に大変でした。

野田 それまでで一番大揉めしたね。夫婦で言ったら離婚寸前の危機的状況だった。

ひびの 3つの時代が交錯した話で、野田さんがどの時代を中心に考えているかがなかなかつかめなくて。新作は毎回そうなんですけど、野田さんの頭の中についていかなきゃいけないのに、野田さんは説明してくれない。それが新作のおもしろさでもあり、超えなけれ

ばいけない高いハードルであり……。

野田 説明しないんじゃないかって、説明できないだよ。僕自身がわかっていないから、とにかく稽古場を見つめて、話がどこに落ちていくのがいいか、『エッグ』ならどの時代が中心なのかを、つかもうとしているの。言い訳じゃないけど、衣裳というビジュアルは、お客さんにとってものすごく強烈な情報になるものでしょう？ ある意味、解釈を与えるってことから、多くのものを求めているという注文することになるんだよね。

ひびの 野田さんの脚本の中には、リアルじゃない言葉や状況がたくさん出て来る。そこを全部リアルな衣裳でやったらどうなるだろうということとは、毎回考えます。例えば『エッグ』の3つの世界を、それぞれの時代にフィットする衣裳を持ってくればそれでいいのか、とか。でも私が台本を渡されて最初に読んだ印象は、どの時代もリアルには存在しない不思議なもので、それを衣裳という形にしたいから野田さんは私を呼んでくれるのかなとか、いつも自問自答しながらやってるんですけど。

野田 そうなんだよ。最初は「え、これが看護婦の衣裳？ あんまり看護婦っぽく見えないなあ」と文句を言うんだけど、舞台上のあの空間の中での最終的な見え方としては、あなたが出してくれたものが正解で。だから出来上がった『エッグ』の衣裳のビジュアルは、僕は好きですよ。申し訳ないのは、スタイリッシュなデザインが出てきた時に――たとえば妻夫木(聡)くんの役は、人気があるスポーツの選手ではあるんだけど、どこかダサイところがあるから――、あえて崩してもらうことになる。劇作家に置き換えたら、すごくいいせりふを書いたのに「カットしてください」と言われるのと一緒にもんね。もったいないし、非常に残酷なことを要求しているわけで。

ひびの そこが、いつも本当に葛藤ですよ。

野田 言うまでもなく、僕はひびのさんを舞台衣裳家ではなくてデザイナーだと思って仕事をお願いしているのね。だからわかっているつもりなんですけど、デザイナーさんって、受け持ったパートはすべて自分でつくり上げるものだと考える傾向があるように思う。ある世界観を完成させて提示するのが仕事というかな。でも舞台の場合は、少し不完全でない



東京芸術劇場 × 明洞芸術劇場 国際共同制作『半神』 撮影：岡本隆史

と、隙間がないと、実はだめなんだというのが僕の持論。

ひびの なるほどなあ。

野田 演劇の種類にもよるし、どういう演出をするかにもよるんだけど、完璧な器を用意してその中に役者を入れると、役者が窮屈さを感じるように思うんだよ。

ひびの すごくお洒落につくってしまうと、演劇の衣裳としては隙間がないものになってしまうんですね。それにしても『エッグ』は(現実と)リンクしましたね。初演の時は決まっていなかったのに、あのあと東京オリンピックが決まって。

野田 そして中国との不仲もね。オリンピックは「やっぱり東京での開催はないでしょ」という方向で何となく話が出ていたと思うけど、中国との関係がこんなに冷え込むとは、初演の時は考えてもいなかった。劇中の中国戦のエピソードは、2年前より今度の上演のほうがみんなドキドキするんじゃないかな。

ひびの そういうふうに、同じ内容なのに意味が変わって感じられるのも再演のいいところですよ。

野田版の子供演劇と、 レポートリーシステムを

野田 この間(14年9月～10月)の韓国入キャストの『半神』の時はじっくり仕事ができただね。あれは何度目かの再演だったけど、僕は演出に徹していたし。

ひびの だから今後の野田さんには、再演を積極的にやってほしいんです。衣裳の立場からすると、再演は基本的にプランを新しくすることはできませんが、長くひとつの作品を続けていくのは、とてもいいことだと思います。

野田 ある種のレポートリーをつくるという



NODA・MAP 第17回公演『エッグ』

撮影：岡本隆史

ONE'S voice

野田秀樹 × アイタイヒト

ことだね。それには日本のお客さんが、作品が練り上げられていく再演というものの価値を理解してくれることが、まず必要になるんだけど。今度の『エッグ』も、初演から2年ちょっとだから「なぜそんなすぐに？」と言う人もいるくらいで。でも海外だと、いい作品はすぐ別の劇場に移って上演を続けたりする。その辺のシステムが日本で変わるの、役者の層の厚さとかスケジュールとか、劇場の運営のされ方なんかの問題があって、おそらく僕が生きている間には難しい気もするけど。

ひびの その意味では、この間の『半神』はトライアルのきっかけになればいいですね。



野田 あれは発展途上で、世にまだ知られていない役者さんも乗せやすい作品だから、毎年オーディションをして芸劇でレパートリーシステムみたいにできたらいいねという話をスタッフとしたところなんです。

ひびの それが実現したらすごい！ 今まで野田さんがやっていないことですね。

野田 キャスト全員韓国人でハングル語で、俺が出ずにやれたわけだから、なぜそれを日本の役者でやらないかって言われればその通りなんだよ。『赤鬼』なんかもそういうレパートリーになりやすいかもしれない。

ひびの もうひとつリクエストしていいですか。野田さん、ぜひ子供向けの作品をつくってください。私、子供番組(『にほんごであそぼ』Eテレ)に関わっていますが、野田作品でも観てみたい。その時はセットも一緒にやらせてほしいな。結構、ファンタジーも得意なので。なん

て言うと、いつも野田さんの美術を担当している堀尾(幸男)さんに怒られちゃうかしら(笑)。野田 いいね。でも僕が子供のための物語を考えると、すぐにねじれたものを考えてしまうんだよね。

ひびの ねじれたものを見せたっていいじゃないですか。

野田 まあね。でもほら、少し大きくなると、ねじれたものばかり目にするようになるんだから、子供のうちぐらいはさ(笑)。でも題材はいろいろ考えられるね。ラプンツェルみたいな話もいいし、僕の『赤鬼』を子供向けにアレンジするのもいいし。

ひびの 出演者も全員子供にしてください。

野田 それもまたおもしろそうだね。

ひびの 子供向けもそうですけど、やっぱり芸劇には継続するものを企画してほしいです。そのひとつに『LIVE BONE』を加えてもらえたらうれしい。

野田 ああ、ダンサーの森山開次さんとあなたがコラボしているやつね。あの森山君の衣裳を見て、『MIWA』のアンサンブルの衣裳にこれが欲しいって、おねだりしたんだよね。あ、もちろん、パフォーマンスも面白かったよ。

ひびの 基本的にせりふはないし、物語とは違うんですけど、彼の動きと私の衣裳と川瀬浩介さんの音で、大人も子供も楽しめる普遍的な作品をつくっています。今、何かいい作品があっても、「そこに行けばまた見られる」という状況がないから、みんな少しずつ忘れてしまわないですか。そして結局、テレビとかDVDしか観なくなる。まず、劇場に行く癖をつけてあげることが大切だと思うんです。観た人が「これはいいよ」と次の人に伝えて、それを聞いた人が観に行き、また次の人に伝えるという。そんなシリーズを芸劇にぜひつくってほしいです。

野田 劇場のプログラミングって、いろいろなバランスを考えなければいけないし、お金の問題もあるから、なかなか思う通りにはならないんだけど、劇場がレパートリーを持つことは、僕もとても大切だと思う。そういう具体的な話、もっと聞きたいな。

ひびの もちろんです。『小さないきもの研究所』という親子参加型のワークショップも定期的に開いていますし、楽しい話はいくら



でも(笑)。

野田 今年はNODA・MAPだけでなく、10都市共同制作オペラ『フィガロの結婚』でも一緒に仕事をするけど、『フィガロの結婚』はかなり早くからワークショップをやっているし、台本はすでにあるし(笑)、最初に言われた問題はクリアできるんじゃないかな。

ひびの ええ、『フィガロの結婚』、私も早くプランを考えたいです。

取材・構成：徳永京子
写真：押木良輔

今回のアイタイヒト

ひびのこづえ HIBINO KODUE

ひびの・こづえ 静岡県生まれ。東京芸術大学美術学部デザイン科卒業。コスチューム・アーティストとして広告、演劇、ダンス、パレエ、映画、テレビなどその発表の場は、多岐にわたる。毎日ファッション大賞新人賞、資生堂奨励賞受賞他、展覧会多数。97年作家名を内藤こづえより改める。NHK教育テレビ「にほんごであそぼ」のセット衣裳を担当中。歌舞伎「コクーン歌舞伎三人吉三」「野田版 研辰の討たれ」衣裳、野田秀樹作・演出「ザ・キャラクター」、「エッグ」「MIWA」など衣裳担当。「LIVE BONE」森山開次×ひびのこづえ×川瀬浩介によるダンスパフォーマンスを展開中。
<http://www.haction.co.jp/kodue/>

野田秀樹 NODA HIDEKI

のだ・ひでき 劇作家・演出家・役者。1955年長崎県生まれ。東京大学在学中に「劇団 夢の遊戯社」を結成、一大ブームを巻き起こし92年に解散。ロンドン留学を経て93年、NODA・MAP設立。『キル』『パンドラの鐘』『オイル』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『南へ』『エッグ』『MIWA』など次々と話題作を発表。故 中村勘三郎丈と組んで歌舞伎『野田版 研辰の討たれ』『野田版 鼠小僧』『野田版 愛宕姫』の脚本・演出を手掛けるほか、海外の演劇人と積極的に作品を創作するなど、演劇界の旗手として国内外を問わず、精力的な活動を展開。14年5～6月には『THE BEE』English Versionをパリ、ルクセンブルク、ドイツにて上演し、高い評価を得る。09年、東京芸術劇場芸術監督に就任。多摩美術大学教授。

「エッグ」

作・演出：野田秀樹 音楽：椎名林檎
出演：妻夫木 聡 深津絵里 仲村トオル
秋山菜津子 大倉孝二 藤井 隆
野田秀樹 橋爪 功

2月3日～22日 東京芸術劇場プレイハウス
3月26日～4月8日 大阪・シアターBRAVA!
4月16日～19日 北九州芸術劇場大ホール
NODA・MAP▶www.nodamap.com/egg

3月3日～8日 パリ・国立シヤイヨー劇場(正式招待)
製作：東京芸術劇場／NODA・MAP
協賛：住友生命／TOPPAN

モーツァルト歌劇
「フィガロの結婚～庭師は見た!～」
(全4幕、字幕付 原語&一部日本語上演)

指揮・総監督：井上道義
演出：野田秀樹

2015年5～6月、10～11月に全国10都市にて
上演予定。(詳細はHPにて発表)
東京芸術劇場▶www.geigeki.jp/



NODA・MAP第17回公演「エッグ」(2012)より
撮影:岡本隆史

COVER PHOTO

「エッグ」

作・演出:野田秀樹 音楽:椎名林檎

出演:妻夫木 聡 深津絵里 仲村トオル 秋山菜津子
大倉孝二 藤井 隆 野田秀樹 橋爪 功

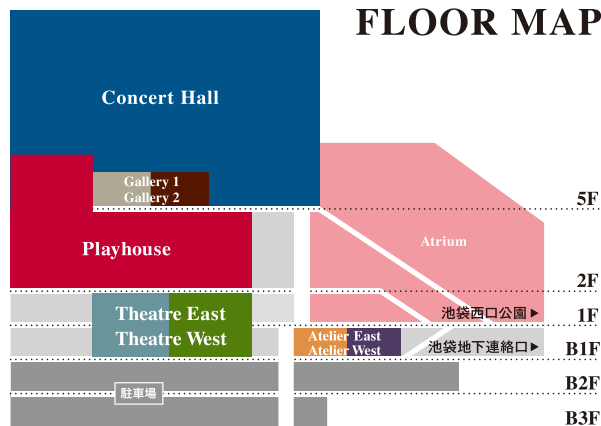
東京公演:2月3日(火)~22日(日)東京芸術劇場プレイハウス
パリ公演:3月3日(火)~3月8日(日)国立シャイヨー劇場(正式招待)
大阪公演:3月26日(木)~4月8日(水)シアターBRAVA!
北九州公演:4月16日(木)~4月19日(日)北九州芸術劇場大ホール

東京 芸術 劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre



FLOOR MAP



1F 東京芸術劇場ボックスオフィス (チケット・総合案内カウンター)

予約
お問合せ | 0570-010-296
(休館日を除く10:00~19:00)

5F 芸術キッズルーム ミューズ (託児サービス)

東京芸術劇場でご鑑賞のお客様に開演1時間前~
終演後30分までお子様をお預かり致します。

利用料金 | 生後4ヶ月~1歳児:2,160円/
2歳~6歳児:1,080円

お問合せ | 03-3981-7003

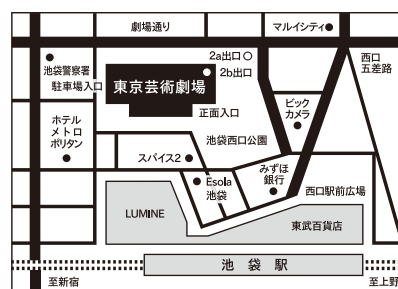
4月1日以降のご利用については
03-5391-2111(代)までお問合せ下さい。

B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場

利用料金 | 300円/30分

営業時間 | 7:00~24:00

お問合せ | 03-6914-0019



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

開館時間 | 9:00~22:00 (休館日を除く)

お問合せ | 03-5391-2111

JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より
徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

〈東京芸術劇場パートナー協賛企業・団体 ご芳名〉東京芸術劇場の年間運営事業に賛同し、ご支援くださっている皆さまです。

アサヒグループホールディングス株式会社

株式会社 資生堂

Bloomberg L.P.

明光義塾

.....

凸版印刷三幸会

レンゴー株式会社

東京地下鉄株式会社

株式会社 JTBコーポレートセールス

立教大学

丸茂電機株式会社

トヨタ自動車株式会社

西池袋熱供給株式会社

住友生命保険相互会社

三精輸送機株式会社

株式会社 松田平田設計

ホテルメトロポリタン

早稲田塾

株式会社フジテレビジョン

株式会社WOWOW

東京臨海熱供給株式会社

株式会社 東京ビッグサイト

ソニー銀行株式会社

キヤノン株式会社

ヤマハサウンドシステム株式会社

株式会社 TBSテレビ

株式会社 松村電機製作所

渡邊建設株式会社

香山壽夫建築研究所

HOTEL URBAN (ホテルアーバン)

国際興業株式会社

野村證券株式会社

(2014年12月1日現在)